

1. 趣旨

教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書は、平成19年（2007年）6月に改正された「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務づけられました。

この点検・評価は、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行状況を点検・評価し、学識経験者の知見を活用することで、効果的な教育行政の推進に資するとともに、議会への提出と公表を行い、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

本報告書では、本市教育委員会がめざす基本理念である「今 吹田から 未来の力を」の実現を図るため、平成22年（2010年）3月に策定しました「わが都市すいたの教育ビジョン」に示された基本計画体系に沿って主要な事務事業の点検・評価を行いました。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2. 点検・評価の実施方法について

平成23年度（2011年度）に教育委員会において執行された事務事業を「わが都市すいたの教育ビジョン」に基づく施策ごとに集約し、施策に対する取組の評価を行い、平成24年度（2012年度）の方針をまとめました。また、施策全般に対する意見・要望等について、学識経験者の知見をいただき、報告書を作成し、議会に提出するとともに、吹田市ホームページに掲載する等の方法により、市民に公表します。

3. 教育ビジョンの基本計画体系に基づく施策一覧表

基本目標 1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育	
基本方向 1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します	施策ア 小中一貫教育の推進
	施策イ 確かな学力の育成
	施策ウ 心の教育の充実
	施策エ 健康・体力づくりの推進
	施策オ 今日的課題に対応した教育の推進
	施策カ 生徒指導の充実
	施策キ 教育相談の充実
	施策ク 進路指導の充実
基本方向 2 「総合的人間力」の基礎を培う幼稚園教育を進めます	施策ア 人とかかわる力を育む保育の充実
	施策イ 小学校と円滑な接続を重視した保育内容の充実
	施策ウ 子育て支援の推進
基本方向 3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます	施策ア 推進体制の基盤整備
	施策イ 学習プログラムの充実
	施策ウ 学習情報への支援
	施策エ 地域スポーツの振興
	施策オ スポーツイベント・プログラムの提供
	施策カ 健康づくり事業の推進と高齢者・障がい者スポーツの振興
	施策キ 情報の提供

基本目標 2 支え合い、地域とともに歩む教育	
基本方向 4 豊かな社会の実現に向けた人権教育を進めます	施策ア 人権教育の推進
	施策イ 人権啓発の推進
基本方向 5 地域の風がゆきかう学校・園づくりを進めます	施策ア 地域に学ぶ教育の推進
	施策イ 学校・園の公開と情報の発信

基本方向 6 地域全体で教育力の向上を図ります	施策ア	家庭教育の支援と青少年育成
	施策イ	青少年指導者等の養成と青少年団体の育成
	施策ウ	子どもの居場所づくりの推進
	施策エ	青少年施設の整備・充実
	施策オ	青少年にふさわしい環境づくり
	施策カ	相談体制の充実
	施策キ	教育コミュニティづくりの推進
	施策ク	各スポーツ団体の育成
	施策ケ	総合型地域スポーツクラブの育成
	施策コ	指導者の養成・確保
	施策サ	指導者の人材活用

基本目標 3 豊かな学びを支援する教育環境		
基本方向 7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します	施策ア	学校・園施設の整備
	施策イ	安心・安全の確保
	施策ウ	情報教育環境の整備
	施策エ	就学・就園の奨励・援助
	施策オ	過大校等の教育環境の整備
	施策カ	学校規模適正化
基本方向 8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます	施策ア	学校・園運営体制の確立
	施策イ	教育資料の整備と教職員研修の充実
	施策ウ	教職員の人事管理の適正化
基本方向 9 時代の要請、市民のニーズに応じた生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます	施策ア	生涯学習関連施設の整備・充実
	施策イ	ふれあいと自己実現の場の提供
	施策ウ	市民体育・スポーツ施設の整備
	施策エ	学校体育施設等の利用・活用
基本方向 10 開かれた教育行政を進めます	施策ア	教育情報の発信
	施策イ	教育委員会の点検・評価

4. 教育委員会の活動状況

(1) 教育委員会の役割

教育委員は常勤の教育長と、各分野で識見を有する5人の非常勤委員とで構成されています。

教育委員会の役割は、教育委員会規則の制定・改廃、教育機関の設置・廃止、職員の人事、活動の点検・評価、予算等に関する意見の申し出など、教育行政全般について自らが管理執行するところにあります。

とりわけ、地方分権のなか、教育のあり方などが問われているもとの、本市教育の基本的な方向について、教育委員会会議の場で合議し、最終的に決めるという非常に大切な役割を担っています。

(2) 教育委員選任状況

教育委員は、市長が議会の同意を得て任命し、その任期は4年です。委員長は、委員の互選により選ばれ、その任期は1年です。また、再任されることができます。

平成24年(2012年)3月31日現在

氏 名	委員としての任期	職 業
委員長 すずき なおし 鈴木 直	平成21年(2009年)3月29日 ～ 平成25年(2013年)3月28日	大学教授
委員長職務代理者 こたに やすし 小谷 泰	平成22年(2010年)3月30日 ～ 平成26年(2014年)3月29日	医 師
委員 おがわ つとむ 小川 勉	平成16年(2004年)12月25日 ～ 平成24年(2012年)12月24日	会社役員
委員 みやした いくこ 宮下 幾久子	平成20年(2008年)12月25日 ～ 平成24年(2012年)12月24日	弁 護 士
委員 おおたに さちこ 大谷 佐知子	平成23年(2011年)8月12日 ～ 平成27年(2015年)8月11日	
教育長 にしかわ としたか 西川 俊孝	平成23年(2011年)12月27日 ～ 平成25年(2013年)12月23日	

(3) 教育委員の活動状況

①教育委員会会議

定例会を12回、臨時会を2回開催し、教育委員会の職員人事や所管する条例、規則の制定・改廃を審議したほか、大阪府学力・学習状況調査の結果を踏まえ、今後の本市の教育内

容にどう活かしていくのか等を活発に議論しました。

また平成24年度使用中学校教科用図書の採択については、選定委員会からの答申を受け、実際の教科用図書を用いながら、多様な考え・意見を慎重に集約して、教科用図書を採択しました。

○教育委員会会議開催回数

		平成23年度 (2011年度)	平成22年度 (2010年度)	平成21年度 (2009年度)
開催回数	定例会	12	12	12
	臨時会	2	0	0
	計	14	12	12

○教育委員会会議付議案件数

		平成23年度 (2011年度)	平成22年度 (2010年度)	平成21年度 (2009年度)
付議 案件数	議案	132	77	68
	報告	16	12	26
	その他	5	4	3
	計	153	93	97

②教育委員協議会

本市の進める教育施策に関して、事務局より内容や進捗状況等の報告を行い、情報の共有化を図るとともに、各施策の課題に対しても、今後の教育施策に活かすため、教育委員が意見を出し合い、協議を行っています。また、教育委員会会議で十分な審議ができるように事務局より教育委員に議案に関して基本的な説明を行い、教育委員会会議の円滑な運営や議論の活性化を図っています。教育委員会会議の開催日を中心に15回開催しました。

○教育委員協議会開催及び付議案件数

	平成23年度 (2011年度)	平成22年度 (2010年度)	平成21年度 (2009年度)
開催回数	15	13	12
付議件数	81	75	80

○主な協議案件

- ・教育委員会事務局の組織改正について
- ・放課後学習の導入について
- ・教育研究大会について
- ・教職員の人事権委譲にかかるPTの設置について

- ・平成23年度大阪府学力・学習状況調査の結果について
- ・平成24年度教科用図書採択について
- ・教育委員会の事務の点検・評価について
- ・平成24年度大阪府学力・学習状況調査について

③その他

- 市議会本会議 28回、文教市民委員会 15回
- 決算審査特別委員会 3回
- 大阪府都市教育委員会連絡協議会関係（役員会、研修会等） 1回
- 大阪府市町村教育委員長会議 1回
- 大阪府・市町村教育委員会委員意見交換会 1回
- 三島地区教育委員協議会 1回
- 吹田市教育研究大会 1回
- 文化の日の表彰式典、成人祭や地区公民館文化祭など各種行事への出席 52回
- 幼稚園、小・中学校及び教育施設等訪問
- 市長との懇談 4回

5. 重点的取組についての取組の成果及び課題等

学校教育

I 幼稚園・保育園と小学校の連携とともに、義務教育9年間を一体的に捉えた小中一貫教育を進め、学校力の向上を図ります

幼稚園・保育園と小学校とのつながりを円滑にするとともに、義務教育9年間を一体的に捉えた小中一貫教育を全市的に展開し、「総合的人間力」の育成に向け、一貫性・継続性のある指導を充実し、本市の学校力の向上を図ります。また、「小中一貫教育校」を開設し、小・中の連続性に着目した研究を進め、その成果を積極的に発信します。

[取組の成果]

- ・ 小中一貫教育推進事業により、全ての中学校ブロックで小中推進連絡会が設置され、めざす子ども像を共有した取組が推進され、合同研修や授業研究など内容の充実が図られました。

【指導課】

- ・ 小中一貫教育校設置の教育委員会決定を受け、教育環境の整備を図るとともに、竹見台中学校、桃山台小学校、千里たけみ小学校で推進体制を確立する中、合同の取組を実施し、平成23年(2011年)4月の開校を迎えることができました。【指導課】
- ・ 各中学校ブロックでの幼・小・中交流を進めており、様々な形で園児と児童、生徒の交流が取り組まれました。【幼稚園課】
- ・ 小学校教育研究会生活科部会と幼稚園教育研究会全体会の共催で研修会を実施し、小学校教諭と幼稚園教諭が同じ場で幼小連携について学ぶ場を設けました。【幼稚園課】
- ・ 園児と児童・生徒との交流に加え、小学校教諭の幼稚園児への指導の取組が進みました。

【幼稚園課】

[今後の課題]

- ・ 中学校ブロックでの「めざす子ども像」を具現化させる取組の推進及び、9年間を見通したカリキュラム研究を推進させるため、また、小中一貫教育校「千里みらい夢学園」の実践成果を発信するとともに取組を検証し、市内各中学校ブロックにどのように反映させていくか方向性を決定するなど、新たな小中一貫教育推進方策の策定が必要です。

具体的には、①千里みらい夢学園の取組推進と成果の発信、②一小一中校区となった南千里中学校ブロックも含めた、その他の全中学校ブロックでの取組の方向性策定と推進、③新たな小学校設立の千里丘中学校ブロックの取組方針などです。【指導課】

- ・ 平成16年度(2004年度)から平成21年度(2009年度)までの6年間、幼稚園教諭と小学校教諭の人事交流が行われましたが、平成22年度(2010年度)以降は幼稚園教諭の正規職員が少ないこと等もあり、交流が難しい状況になっています。【幼稚園課】

II 教育課題やライフステージにあった教職員の研修を充実し、授業力や学校経営力の向上を図ります

今日の子ども・学校・教育を取り巻くさまざまな状況を踏まえた教育課題別の研修を充実するとともに、学校における今後の管理職及び中核教員の育成を図る研修や、初任者研修、ステップアップ研修、10年経験者研修等、ライフステージに応じた研修を充実し、授業力、子ども理解力、学校

経営力の向上を図ります。

〔取組の成果〕

- ・ ステップアップ研修・ヤングリーダー研修等ライフステージに応じた研修等、法定研修以外の一般研修も、積極的に受講する教職員が増え、研修意欲が高まっています。

【教育センター】

- ・ 教職員研修は、研修のアンケート調査を継続的に実施することで受講者のニーズを把握し、連続研修や参加型研修等研修形態の工夫、学校の取組や個人の実践につながるような研修内容の工夫等を考えながら企画することで評価を得ています。【教育センター】
- ・ 研究紀要や各教科の授業指導案等を教育センターホームページや SATSUKI ネット（吹田市学校教育情報通信ネットワーク）「知恵の泉」にアップロードすることにより、教育資料や教育情報の共有化ができるようにし、教員の授業力向上を図っています。【教育センター】

〔今後の課題〕

- ・ ミドルリーダー層（中核教員）の教員が非常に少なく、次世代リーダー層の養成が大きな課題です。教育センターにおいて、教職経験年数の少ない教職員の育成・資質向上に向けた研修を一層充実させていきます。【教育センター】
- ・ 法定研修である10年経験者研修は、受講者が今後ますます増えていくため、初任者研修と併せて実施方法等への対応が必要です。【教育センター】
- ・ 教育課題への対応や授業づくり等の研修を夏季休業期間に集中実施してきましたが、平成23年度（2011年度）から夏季休業期間が短縮され、研修講座の種類、内容、日程の調整や会場の確保が難しくなっています。【教育センター】
- ・ 教育センターホームページや SATSUKI ネット「知恵の泉」については、すべての教職員がより活用しやすいよう一層の工夫が必要です。【教育センター】

III 未来を拓く子どもの育成に向け、今日的課題に対応した教育を進めます

本市独自の副読本の作成や英語指導助手の配置、農業体験・職業体験の充実をはじめ、国際理解教育や情報教育、環境教育、学校図書館教育、食育、キャリア教育等々にかかるさまざまな学習環境を整備し、未来を拓く子どもの育成に向け、今日的課題に対応した教育の充実を図ります。

〔取組の成果〕

- ・ 新学習指導要領が示す言語活動や体験活動の充実に向け、英語教育推進事業や読書活動支援者配置事業により、AET（英語指導助手）や支援者を派遣することで、児童・生徒が意欲的に言語活動に取り組める環境が整備されました。また、学童農園及び農業体験学習推進事業、職業体験等支援事業、国際理解教育プログラム推進事業、環境教育推進事業により、総合的な学習の時間等での体験的な学習を通じて、主体的に探求活動に取り組む教育実践が進みました。【指導課】
- ・ 国際理解教育、情報教育、食育、キャリア教育など今日的な課題に対応した教育については、学校において、総合的な学習の時間や教科との横断的な学習として、年間計画に明確に位置づけられ、充実した取組となっています。【指導課】

[今後の課題]

- ・ 副読本の活用を含め、今後の副読本作成・編集については、引き続き検討していく必要があります。【指導課】

生涯学習

Ⅳ 「生涯学習吹田市民大学」をはじめ、「いつでも」「どこでも」「だれでも」生涯学習活動に取り組める体制づくりを進めます

高度で多様化する市民の学習ニーズに対応するため、大学・研究機関（大阪大学・関西大学・大阪学院大学・千里金蘭大学・国立民族学博物館）と緊密な連携のもと、ライフステージや生活課題に応じた学習機会を充実させていきます。また、市内29の地区公民館では、身近な学びの場として多様なニーズに応じた学習内容の充実を図ります。さらに、「生涯学習吹田市民大学」をみんなで支えるまちづくりにつながる「学びの場」として発展させていきます。

[取組の成果]

- ・ 生涯学習吹田市民大学の特別講座については、公募市民や学識経験者で構成する生涯学習推進市民委員会の意見を反映して企画を実施しました。豊かな人生のおくり方・吹田の歴史・心を見つめる講座・国際理解など、市民の関心やニーズの高い講座を行い、さまざまな立場で活躍する講師を迎え、10回シリーズでじっくりと深い学びを提供できました。

【生涯学習課】

- ・ 生涯学習関連施設情報を「ひろがれ」、講座イベント情報を「もよおしいろいろ」、人材情報を「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報を「さーくるネット吹田」として、生涯学習情報誌の発行を行うとともに、市のホームページ上でも提供し、生涯学習関連情報の提供の充実を図りました。【生涯学習課】

- ・ 生涯学習情報の提供により、「興味のある講座が見つかった」や、「学びたいテーマの講師を探すことができた」などの反応がありました。【生涯学習課】

- ・ 「ひとの宝箱」や「さーくるネット吹田」に登録することで、自分の経験や学んだ成果を発表することができ、自己実現や生きがいのある生活に役立てることができました。

【生涯学習課】

- ・ 市民の学習意欲に応えるために、市職員が担当業務について出張して話す吹田市生涯学習出前講座、桃山台小学校・山手小学校の地域交流室の開放事業並びに、すべての小学校の多目的教室と一部の小学校の特別教室を地域の団体に身近な学びや活動の場として開放する小・中学校教室開放事業を実施し、市民の生涯学習の支援を行うことができました。

【生涯学習課】

- ・ 市内の大学との連携講座として実施している生涯学習吹田市民大学「関西大学講座」・「千里金蘭大学キャンパス講座」においては、大学構内の施設で受講できる講座もあり、受講者からのアンケートでも、「大学の雰囲気を感じることができて楽しかった」など良好な感想を得ています。また、毎年恒例の講座のため、今後学びたい分野について積極的な意見が寄せられ、継続した学びへとつなげることができています。【生涯学習課】

- ・ 子育て教室は保育付きの講座で、子育て中の親が安心して受講できています。【生涯学習課】

- ・ 地区公民館の主催講座の選定にあたっては、地区公民館長と地域の代表である企画運営委員が中心に行っており、地域住民のニーズを取り入れた講座内容を企画しています。

【生涯学習課】

[今後の課題]

- ・ さらなる活用を促進するため、広報などにより周知を推進します。【生涯学習課】
- ・ 生涯学習吹田市民大学の特別講座については、幅広い年齢層に受講してもらうため、内容や開催日時などを検討する必要があります。【生涯学習課】
- ・ 地区公民館の講座内容については「趣味・教養」に偏りがちであるため、人権問題や高齢化問題など、現代的課題についても、より積極的に取り組むよう館長会、企画運営委員会を通じた指導・助言を行います。【生涯学習課】

青少年育成

V 地域の充実した青少年育成活動を支える団体・個人との協働によって、豊かな教育コミュニティづくりを進めます

各地区の青少年対策委員会・地域教育協議会等において活動する団体・個人との協働によって、地域の青少年育成活動のより一層の活性化を進めるとともに、青少年支援、子育て支援、図書館が一体となった子育て青少年拠点夢つながり未来館において、青少年や市民の誰もが仲間と出会い、夢へとつながる「居場所づくり」をめざします。

また、子どもたちの自由な居場所としての「こどもプラザ事業」をさらに充実させ、「みんなで子育て 地域の子ども」を実践する「共に学びあい支えあう教育コミュニティづくり」を進めます。

[取組の成果]

- ・ 青少年活動サポートプラザでは、青少年が主体となって、様々な事業に取り組むことで、青少年の自主性や創造性が生まれ、仲間との交流が広がり、共に成長し合える居場所づくりを進めることができました。【青少年活動サポートプラザ】
- ・ 施設の運営については、より質の高い市民サービスの提供や、効率的な管理運営による経費の削減等の観点から、勤労青少年ホームの管理運営に公募による指定管理者制度を導入しているところです。平成24年度から、自然体験交流センターへ指定管理者制度を導入し、効率的かつ効果的な管理運営をめざします。【青少年室】
- ・ こどもプラザ事業は、子どもたちが安心して安全に放課後を過ごせる居場所として実施し、地域が一体となって子どもたちを見守り育てる環境づくりを通じて子どもたちの健全育成につなげていけるよう進めているところです。【青少年室】

[今後の課題]

- ・ 青少年育成活動については、地域や団体との協働により各種事業の実施や市民への啓発活動を引き続き行っていくとともに、施設の運営については、適切な管理や費用対効果を検証しながら、利用促進を図ることが必要です。

こどもプラザ事業については、継続的かつ安定的に運営するための事業内容の検討並びに市民主体の協働へと移行できるよう、引き続き検討を進める必要があります。【青少年室】

生涯スポーツ

VI 健康づくり都市宣言をした本市は、市民の健康・体力づくり施策の充実と発展に取り組みます

健康づくり都市宣言をした本市は、「一市民・一スポーツ」を合言葉に、成人の週1回以上のスポーツ実施率が50%（2人に1人）になることをめざし、スポーツのできる場所や機会の提供に努め、スポーツプログラムの企画及び実技指導・助言を行う指導者の育成を図ります。また、各スポーツ組織と行政が連携・協力のもと、さらなる生涯スポーツの振興を進めます。

[取組の成果]

- ・ 各種競技スポーツ指導員や社会体育リーダーを養成・確保するとともに、社会体育施設や学校体育施設において継続したプログラムを提供することで、多くの市民がそれぞれの目的にあったプログラムに参加し、生涯スポーツの促進につながっています。【スポーツ推進室】

[今後の課題]

- ・ 市民のスポーツ・健康に関する多種多様なニーズに応じていくために、社会体育団体相互の連携・協力体制を強化し、各種競技スポーツ指導員や社会体育リーダーの更なる有効活用に向けて検討を行いながら、より充実したプログラムの提供に努めていく必要があります。

【スポーツ推進室】

教育環境

VII 安心・安全で豊かな学びを創造する教育環境を整備します

学校施設・社会教育施設・スポーツ施設等の耐震化や老朽化に伴う大規模改造、地域との連携による学校内外の安全確保、ICT教育環境、エコスクール化、学校図書館の充実、さらには快適に過ごせる学校施設など、安心・安全で豊かな学びを創造する教育環境の整備を進めます。

[取組の成果]

- ・ 「市有建築物の耐震化計画」に沿って、学校施設の耐震化に取り組んでいます。また、屋内運動場の耐震補強工事を完了しました。【学校管理室】
- ・ 地球温暖化による夏期の学習等の環境改善を図るため、小・中学校の普通教室及び幼稚園の保育室の、空調設備の設置に取り組んでいます。【保健給食室】【学校管理室】
- ・ 情報モラルや情報セキュリティのほか、ICT機器活用等の情報実技研修の内容を充実させることで、教職員のICT活用能力の向上が図られ、ICT機器の有効活用による児童・生徒にとってわかりやすい授業づくりが進められてきました。【教育センター】

[今後の課題]

- ・ 老朽化した学校施設の大規模改造工事について、「公共施設の最適化方針」に沿って実施できるよう努めます。【学校管理室】
- ・ 子どもたちが情報処理力や情報活用力を身につけるためには、教職員のICT活用能力の一層の向上を図ることが必要です。【教育センター】
- ・ 国のIT戦略会議では、子ども3.6人に1台のコンピュータ整備を提案し、文部科学省は平成26年度（2014年度）以降、子ども1人に1台のコンピュータ整備を指標にしようとしています。【教育センター】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	ア 小中一貫教育の推進							
各中学校ブロックにおいて連絡会などを計画的に開催し、めざす子ども像を共有するとともに、小・中学校間の円滑な接続を重視した義務教育9年間の構造的なカリキュラムや、発達段階に応じた指導体制・指導方法の確立、授業研究の取組、児童・生徒の交流促進など、それぞれの課題や成果を踏まえた「小中一貫教育」を推進します。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,185</td> <td>10,857</td> <td>9,400</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	5,185	10,857	9,400
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
5,185	10,857	9,400						
●施策を構成する事業								
構成事業1	小中一貫教育推進事業	【指導課】						
○各中学校ブロックにおいて義務教育9年間を見通した視野で「目指す子ども像」を共有し、魅力あふれる教育活動やカリキュラム編成等の研究を推進し、成果を発信します。								
構成事業2	小中一貫教育校設置事業	【指導課】						
○小中一貫教育校「千里みらい夢学園」において、小・中学校が連携し、小学校で英語教育を推進します。								
構成事業3	学校管理運営事業	【教育センター】						
○竹見台中学校において、桃山台小、千里たけみ小の第6学年が通う教室に校内LANを増設します。								
構成事業4	小中一貫教育校設置事業	【学校施設課】						
○小中一貫教育校「千里みらい夢学園」のため、施設の改修を実施します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 子どもたちの個性を重視し、「困難にくじけず心豊かでたくましい力」を育む学校教育を進めるため、本市の取組の特色として、義務教育9年間を一体のものとして捉え、一貫性・継続性のある教育の推進をめざし、小・中の緊密な連携のもと、取組を推進しています。各中学校ブロックでめざす子ども像を共有し、小中一貫連携協議会(連絡会)を定期的で開催し推進体制を機能化させるとともに、学習や生徒指導等における課題解決に向けて、合同研修会の開催や公開授業等具体的な取組の充実を図ることができました。また、小中一貫教育校「千里みらい夢学園」(※)を開校することができました。【指導課】

(※)「千里みらい夢学園」

桃山台小学校、千里たけみ小学校、竹見台中学校の3小中学校で構成する施設分離連携型の小中一貫教育校(平成23年(2011年)4月開校)

- 小中一貫教育校設置事業において、小中一貫教育を推進するため、竹見台中学校にて、桃山台小学校と千里たけみ小学校の第6学年登校用教室として使用する2教室の改修工事を実施しました。【学校管理室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 2年目を迎える「千里みらい夢学園」では、これまでの研究成果等を基に、子ども保護者にとって魅力ある教育活動を展開するとともに、本市小中一貫教育のリーディングスクールとして、小・中9年間を見通した連続性のあるカリキュラム研究、具体的、実践的な取組等の成果

をまとめ、他ブロックに発信し、市全体としての小中一貫教育のさらなる充実を図ります。学校教育活動の中では、今後も自然学習や体験学習、ボランティア活動等を実施し、地域社会と関わりを持ちながら、総合的人間力を育むべく教育活動を推進していきます。【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	イ 確かな学力の育成							
児童・生徒が確実に基礎・基本や思考力・判断力・表現力、自ら学び自ら考える力を身につけることができるよう、個に応じたきめ細かな指導の充実を図るとともに、家庭や地域社会における取組とも連携しながら、学習意欲と自学自習力の向上を図ります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>33,849</td> <td>59,568</td> <td>57,075</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	33,849	59,568	57,075
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
33,849	59,568	57,075						
●施策を構成する事業								
構成事業1	吹田市立小中学校における35人学級の導入事業	【教職員課】						
○小学校第3学年と中学校第3学年に35人学級を導入します。(平成23年度は小学校2校、中学校2校でモデル校実施)								
構成事業2	小学校スタートアップ事業	【教職員課】						
○小学校第1学年の児童に対して、「きめ細かな」指導を充実させ、幼稚園等からのスムーズな移行を図るとともに、学習や生活をサポートするため、スターター「支援者」を配置します。								
構成事業3	中学校個別学習支援事業	【指導課】						
○個々の課題に応じた個別学習支援、生徒の心の安定、居場所づくりを支援します。(平成23年度末で事業廃止)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 大阪府では学校生活の基礎を築く重要な時期である小学校第1・第2学年で少人数での指導を充実させるため、平成19年度(2007年度)から35人学級が実施されています。さらに、本市独自で教員を配置し、小学校第3学年と中学校第3学年において、35人の少人数学級編制を実現することにより、学習面、生活面におけるきめ細かな指導や進路指導の充実を図っています。平成23年度(2011年度)は、岸部第一小学校、千里第一小学校、第二中学校、豊津西中学校の小学校2校、中学校2校でモデル校実施を行いました。実施校からは、児童・生徒の理解の様子をつかみやすくなり、きめ細かな対応ができ、その結果、落ち着いて学校生活を送れるようになったという報告を受けています。この事業の推進により、確かな学力を身につけ、心豊かな、健やかでたくましい子どもの育成、いじめ・不登校問題への対応、進路指導の充実等の効果を上げています。【教職員課】
- 幼稚園や保育所等から小学校への急激な学習・生活環境の変化の中でつまずきや戸惑いを見せたり、不適応行動をとり始めたりすることの多い小学校第1学年の児童に対して、スターター「支援者」を配置し、「きめ細かな」指導を充実させ、スムーズな移行を図るとともに、学習や生活をサポート等の充実及び、虐待の兆候等への初期対応を図ることができました。また、平成23年度(2011年度)当初からは、全小学校にスターター「支援者」を配置することができました。【教職員課】
- 「確かな学力」の育成と、「頑張ることを大切にする教育」の推進のため、児童・生徒の自ら学ぶ力や学習意欲の向上に努めるとともに、大阪府学力学習状況調査結果の分析を通して、学力や学習に関する状況を把握し、指導方法・内容等の改善の取組を図ることができました。

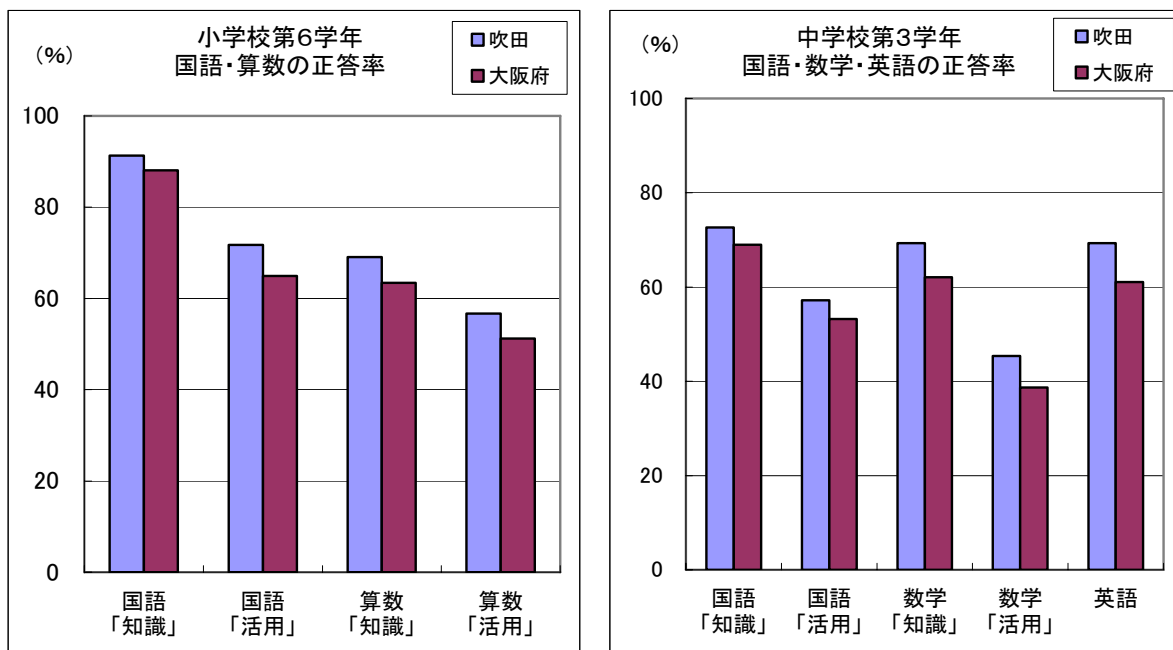
【指導課】

- 中学校において、通常の学習活動が困難な生徒の学習保障として、学習指導員が個別に学習支援し学力向上を図ることができました。また、課題を抱える生徒の心の安定、居場所づくりに、学習支援者の支援が効果的に機能しました。【指導課】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 平成23年度より国の基準で小学校第1学年を35人学級とし、今後年次的に対象学年を拡充する見込みがあることから、事業を見直し、対象を中学校として、授業のみを担当する講師2名（2教科）を任用し、35人学級のモデル校実施を行います。【教職員課】
- 幼稚園や保育所等から小学校への急激な学習・生活環境の変化のなかで、つまずきや戸惑いを見せることの多い入学直後の児童を対象として、引き続き「きめ細かな」指導を充実するとともに、虐待の兆候等を早期に発見し、対応することで、問題解決につなげるためにスターター「支援者」を引き続き全小学校に配置し、安心・安全な学校づくりを図ります。【教職員課】
- 大阪府学力学習状況調査では、小学校第6学年、中学校第3学年とも、大阪府値に比べ概ね良好な結果でしたが、依然として基礎基本を活用し問題解決する能力に課題が見られます。「確かな学力」の育成に向けて、児童・生徒一人ひとりの個に応じたきめ細やかな指導がさらに充実するよう、校務分掌の中に学力向上委員会を明確に位置づけ、組織的な取組を推進するなど学習指導の充実に努めていきます。【指導課】

参考となる指標



※平成23年度(2011年度)大阪府学力・学習状況調査結果 【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	ウ 心の教育の充実							
道徳教育を計画的、発展的に学校の教育活動全体に位置づけ充実を図るとともに、基本的な生活規律、授業規律の確立をはじめ、教職員と児童・生徒及び児童・生徒相互の人間関係の深まりや、ボランティア活動、自然体験活動などの価値ある体験活動を大切に、家庭や地域社会における取組とも連携しながら心の教育の充実を図ります。								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</th> <th style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</th> <th style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> <tr> <td>2,266</td> <td>2,288</td> <td>1,890</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	2,266	2,288	1,890
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
2,266	2,288	1,890						
●施策を構成する事業 構成事業1 道徳教育副読本作成事業 【指導課】 ○道徳教育副読本を小中学校に配布します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 児童・生徒の豊かな人間関係づくりを進めるとともに、基本的な倫理観や規範意識等道徳的価値に基づいた生き方について自覚を深め、道徳的実践力を育むことを目的に作成した副読本等を有効に活用しながら、道徳教育活動の取組の充実を図ることができました。【指導課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 道徳の時間における明確なねらいの設定と、ねらいにせまる授業展開の研究・実践等を通して、道徳教育の一層の充実を図ります。【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	エ 健康・体力づくりの推進							
児童・生徒が健康を保持増進する実践力を身につけるため、学校の教育活動全体を通じて、組織的、計画的に健康教育と体力づくりを推進します。 また、学校保健の充実のために、学校・地域・家庭・医療機関等が連携を深め、病気の早期発見と生活習慣病の予防など、健康の維持増進に努めます。小学校給食は、献立の工夫や食材の選定、また、調理用備品や施設の整備・拡充により、安心・安全で食育に寄与する給食の充実を図ります。中学校給食モデル事業についても、利用率や申し込み方法、メニュー内容等の検証を行い中学校給食の充実を図ります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>269,845</td> <td>302,316</td> <td>266,183</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	269,845	302,316	266,183
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
269,845	302,316	266,183						
●施策を構成する事業								
構成事業1	児童等の健康診断	【保健給食課】						
○児童・生徒・園児の健康診断を実施します。また、就学時健康診断を実施します。								
構成事業2	生活習慣病予防検診	【保健給食課】						
○小学校第5学年、中学校第2学年等を対象に生活習慣病予防検診を実施します。								
構成事業3	歯科保健指導	【保健給食課】						
○学校歯科医による児童・生徒・園児への歯科保健指導を実施します。								
構成事業4	調理用備品整備充実事業	【保健給食課】						
○調理用備品の更新により安全で衛生的な学校給食を提供します。 ○給食内容の多様化と充実をめざします。								
構成事業5	中学校給食モデル事業	【保健給食課】						
○安心・安全で栄養のバランスに配慮した食事の提供を目的に中学校給食を実施します。								
構成事業6	学校給食で食育や衛生に寄与する事業	【保健給食課】						
○給食試食会を開催し保護者への食育啓発を実施します。 ○調理員研修での衛生管理の徹底をめざします。 ○地産地消事業として吹田市内農家産野菜を給食で使用、給食週間で吹田市米を使用します。 ○セレクトデザート、児童応募献立、お楽しみ献立を実施します。								
構成事業7	学校体育助成事業	【指導課】						
○小・中学校の児童・生徒が対外競技時に利用する交通機関の費用を助成します。 ○小・中学校の体育連盟へ助成します。								
構成事業8	水泳安全指導事業	【指導課】						
○小・中学校の小規模校におけるプール授業時、小学校の臨海学習時に安全指導員を配置します。 ○小学校臨海学習時の安全監視のための伴走用船舶の借上料を助成します。								
構成事業9	学校事故補償事業	【指導課】						
○学校管理下における怪我や事故の発生に伴う医療費等の保障で保護者負担の一部を助成します。 ○緊急時の搬送用タクシー使用料を助成します。								
構成事業10	体育副読本作成事業	【指導課】						
○体育副読本を作成、小学校に配付します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市立小・中学校、幼稚園の児童・生徒・園児に対し健康診断等を実施し、疾病等の有無を早期に発見し、事後指導を行い良好な健康状態を保持するよう指導しました。【保健給食室】
- 中学校給食については、市が献立を作成し、調理から配送までを民間事業者へ委託するデリバ

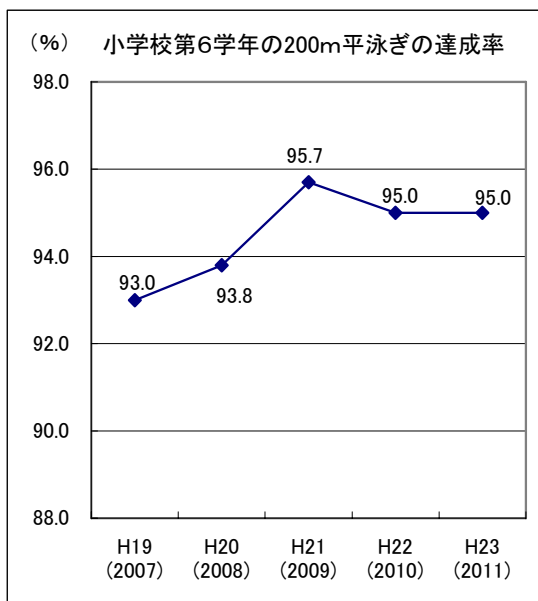
リー方式により、平成24年2月から、全校実施を達成しました。【保健給食室】

- 小学校給食については、安心・安全な給食を提供するためハード面での拡充、整備を行うとともに、ソフト面でも調理員研修などを実施しました。給食の献立についても教材としての観点で工夫を重ね、コストをかけず効果を上げるための努力を行いました。【保健給食室】
- 学校体育助成事業により、各学校への助成を行うことで、児童・生徒のスポーツに親しむ機会の向上につながりました。【指導課】
- 本市の水泳は、長い距離をゆっくり泳ぎきる力の獲得をめざしており、低学年から系統的な指導を行い、平成23年度（2011年度）も第6学年で9割以上の児童が、平泳ぎで200mという目標を達成しています。生涯にわたっての水泳能力の獲得と合わせて、目標達成により他の学習にも学習意欲向上としての成果が生まれています。【指導課】
- 新学習指導要領実施に伴い、小学校中学年の体育副読本を改訂しました。配布された副読本を有効に活用することにより、小学校における体育指導の内容・方法が工夫され、児童の体力・運動能力の向上につながる取組が推進されました。【指導課】

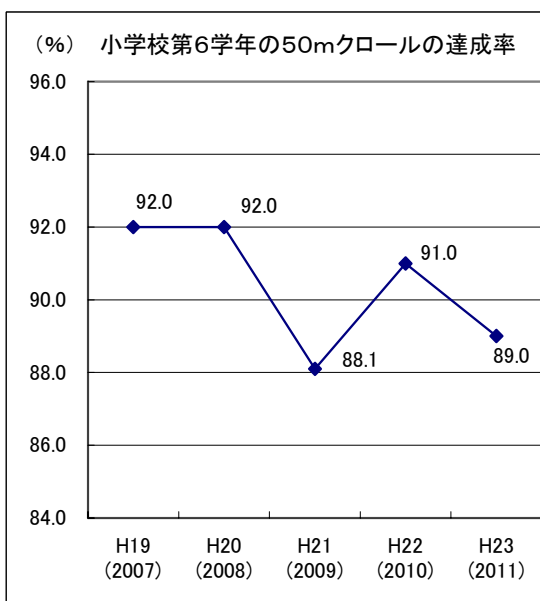
◆平成24年度（2012年度）の方針

- 市立小・中学校・幼稚園の児童・生徒・園児等の健康診断等を継続していくことで良好な健康状態を保持していきます。【保健給食室】
- 学校給食については、健康な児童・生徒の育成のため引き続き施設や備品の拡充・整備に努めるとともに、食に関連する指導教材としての果たす役割について検討していきます。小学校3校に給食調理等業務の外部委託を実施します。民間活力を導入し、これまでどおり安心・安全な学校給食を引き続き提供してまいります。また中学校給食については、安全で栄養バランスに配慮した給食を提供するため、内容の拡充を図ります。【保健給食室】
- 中学校においても食育について、全体計画に基づき、推進に努めます。【保健給食室】
- 小学校高学年の体育副読本の作成については、新学習指導要領の実施に伴い編集委員会で改訂に向けて取り組みます。【指導課】

参考となる指標



【指導課】



【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	オ 今日の課題に対応した教育の推進							
<p>自国文化理解、異文化理解、コミュニケーション力の育成をめざした国際理解教育をはじめ、情報活用能力や情報モラルの向上をめざした情報教育、環境保全やよりよい環境の創造に向けた実践的態度を養う環境教育、豊かな読書活動の推進を図る学校図書館教育、高齢化の状況や福祉の課題等についての理解をめざす福祉教育、健全な食生活の実践をめざす食育等、今日的な課題に対応した教育を推進します。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>93,261</td> <td>92,343</td> <td>84,122</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	93,261	92,343	84,122
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
93,261	92,343	84,122						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1	読書活動支援者配置事業	【教職員課】						
<p>○学校図書館の充実を図るとともに、児童・生徒の豊かで幅広い読書活動を推進するため、小学校全校及び中学校3校で1人2校兼務、中学校15校で1人3校兼務で読書活動支援者を配置します。</p>								
構成事業2	中学校部活動活性化支援事業	【指導課】						
<p>○中学校の運動部(複数校合同部活動・種目別拠点校を含む)、文化部に専門的な技術指導力を備えた指導者を派遣します。 ○大会審判員を派遣します。 ○派遣活動中の事故に備え保険に加入します。</p>								
構成事業3	学童農園及び農業体験学習推進事業	【指導課】						
<p>○児童に自然との関わりの中で、作物を育てることの喜びや勤労を大切にする意識を培うため、小学校における学童農園及び農業体験等を実施します。</p>								
構成事業4	環境教育推進事業	【指導課】						
<p>○地域人材を活用し、体験的な環境学習の推進や環境教育の充実に取り組みます。 ○学校ビオトープや緑のカーテンづくりに取り組みます。</p>								
構成事業5	環境教育副読本作成事業	【指導課】						
<p>○環境教育副読本を改訂時に作成し、小・中学校に配付します。(平成23年度からは配付せずに学校保管としています。)</p>								
構成事業6	「わくわくスタート」事業	【指導課】						
<p>○就学前児童・生徒を対象にした学校案内を作成、配付します。 ○保護者へのガイダンスを実施します。</p>								
構成事業7	小学校社会科副読本作成事業	【指導課】						
<p>○小学校社会科副読本を作成、配付します。</p>								
構成事業8	宿泊行事助成事業	【指導課】						
<p>○小・中学校の宿泊行事に伴う付添看護師に係る経費(謝礼・交通費・宿泊費)を助成します。 ○市立少年自然の家を利用する小学校の児童の往復交通費相当額を助成します。(往復交通費相当額助成については平成23年度末廃止)</p>								
構成事業9	中学校対外部活動助成事業	【指導課】						
<p>○中学校の生徒に対し、対外文化コンクール及び対外運動競技における全国大会及び近畿大会参加に必要な経費の一部を助成します。</p>								
構成事業10	視聴覚鑑賞費補助事業	【指導課】						
<p>○小・中学校で実施する観劇等の視聴覚行事において、保護者負担の一部を助成します。(平成23年度末事業廃止)</p>								
構成事業11	英語教育推進事業	【指導課】						
<p>○英語を母国語とするAET(英語指導助手)を小・中学校に配置します。</p>								
構成事業12	国際理解教育プログラム推進事業	【指導課】						
<p>○国立民族学博物館の入場引換券を小・中学校に配付します。 ○「総合的な学習の時間」等の国際理解教育を行う際に、外国人講師等の外部人材を派遣します。 ○活動中の事故等に対する保険に加入します。</p>								

構成事業13 通訳者派遣事業	【指導課】
○帰国後の日本語指導が必要な児童・生徒に対し学校教育への円滑な適応を促進するため、通訳者を派遣します。	
構成事業14 日本語適応教室事業	【指導課】
○帰国・渡日した日本語指導が必要な児童・生徒に対し学校教育への円滑な適応を促進するため、また学習言語を習得するために日本語適応教室を設置します。	

◆平成23年度（2011年度）取組に対する評価

- 学校図書館教育の充実を図るとともに、子どもたちの豊かで幅広い読書活動を支援することを目的として、各小中学校に読書活動支援者を配置しており、学校図書館の環境整備や読書活動の推進に効果を上げています。【教職員課】
- 児童・生徒が地域社会との関わりを持ち、人・自然・社会とのふれあいと対話を重視し、職業体験やボランティア活動を体験したり、農業体験（※1）、学校ビオトープ（※2）・緑のカーテンづくり（※3）等を行うことにより、児童・生徒の社会性や豊かな人間性を育み、自らの生き方や自然環境への認識が深められました。キャリア教育の充実に向けて、中学校17校で職業体験を実施しています。【指導課】
 - （※1）農業体験
 - 地域の田んぼ等において、田植えや稲刈りの作業体験を行う取組
 - （※2）学校ビオトープ
 - 色々な生き物が生息できる自然環境を備えた場所（ビオトープ）を学校敷地内に設置し
生きた環境教育の場とする取組
 - （※3）緑のカーテンづくり
 - ゴーヤ等のつる性植物を窓を覆うように繁茂させ、壁面緑化と建築物の温度上昇の抑制
効果を図る取組
- 学童農園及び農業体験事業として、小学校19校が農地提供農家の協力のもと参加し、環境教育推進事業については、学校ビオトープや緑のカーテンづくりを推進するとともに、地域人材を積極的に活用しました。また、副読本も有効に活用し、事業の推進を図ることができました。【指導課】
- 専門的スキル・知識をもった外部指導者の活用を行うとともに、安心して活動に取り組むことができるように保険の加入も行い、児童・生徒、保護者、学校のニーズに対応し、部活動の活性化を図ることができました。【指導課】
- 児童・生徒が、直接に劇や音楽に触れる機会となる視聴覚行事は、「豊かな心」の育成の向上につながり、鑑賞費の一部を助成することで保護者負担の軽減を図ることができました。

【指導課】
- 国際社会をたくましく生きぬく子どもを育成するために、異なる文化・習慣を理解し、違いを認め合い、ともに生きる態度を培うとともに、自分の考えや意思を日本語だけでなく英語でも表現し、コミュニケーションを図れる基礎的な能力の育成を行っていますが、小学校第5・第6学年にネイティブの指導助手を派遣することにより、英語を「話す」「聞く」の活動の充実を図ることができました。また、中学校AET（英語指導助手）を引き続き、当初より18名の配置とし、さらなる推進を図りました。【指導課】

- 国立民族学博物館での学習や外国人の外部人材派遣による校内での取組により外国の文化・言語等にふれたり、体験活動を行ったりする機会が充実し、互いの違いを認め合い尊重する態度の育成につながりました。【指導課】
- 帰国・渡日した日本語指導が必要な児童・生徒に対し、通訳者を派遣することにより、円滑な学校生活の推進を図ることができました。
また、平成16年度(2004年度)より国の事業の指定校としてスタートし、平成18年度(2006年度)より市の事業と位置づけ、竹見台中学校で毎週水曜日に日本語適応教室(※)を開催し、様々な活動を行い、円滑な学校生活への支援を図ることができました。【指導課】
(※) 日本語適応教室(さくら広場)
中国等からの帰国園児・児童・生徒及び新たに渡日した外国人等の園児・児童・生徒に対して、学校生活になじむための対応や日本語の指導、また母語保持のための指導を行う取組

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 読書活動支援者配置事業を継続して実施します。【教職員課】
- 児童・生徒、保護者、学校のニーズに合わせた、中学校の部活動指導者(※)及び大会審判員の派遣の充実を図ります。【指導課】
(※) 部活動指導者(複数校合同部・種目別拠点校を含む)
専門的な技術指導力を備えた適切な指導者を必要とする運動部・文化部を有する学校からの要請により、教育委員会が外部指導者(社会人及び大学生)を派遣する取組
- 環境教育副読本の作成については、新学習指導要領実施に伴い、編集委員会で改訂について再検討します。【指導課】
- 昨年度より外国語活動が完全実施となり、活動内容の充実に向け、新教材を用いてのカリキュラム作成や指導法の改善を図ります。また、中学校では、18名のAET(英語指導助手)を配置し、活用の更なる充実を図ります。【指導課】
- 出来るだけ多くの学校が、国立民族学博物館を利用するよう啓発するとともに、外部人材の派遣についても、派遣申請の調整を行い、外国の文化等にふれる機会の充実を図り、違いを認め互いに尊重し合う態度の育成に努めます。【指導課】
- 通訳者の派遣が必要な児童・生徒に対し、通訳者を派遣し、学校教育への円滑な適応の推進を図ります。【指導課】
- 帰国後の日本語指導が必要な園児・児童・生徒に対し、毎週水曜日に日本語適応教室を開催し、様々な活動を行い、円滑な学校生活への支援を図ります。中学生に対しては、高校受験等の進学を視野に入れた指導を行うとともに、学校の教職員に対しては、教育センターの研修として日本語適応教室のフィールドワークを行うなど認知度をあげる取組を行います。【指導課】

参考となる指標

学校ビオトープ、緑のカーテンづくりの実施校

年度	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)
実施校数	13	15	18	22	24

【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策 力 生徒指導の充実

学校の教育活動全体を通じて、社会生活を営む上での倫理観や規範意識・ルールなどを確実に身につけさせるため、校内の生徒指導体制の確立を図るとともに、問題行動の未然防止及び早期発見、早期対応に向け、小・中学校間の連携や関係機関との連携を深めながら、多面的、総合的な取組を進め、生徒指導の充実を図ります。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
1,899	14,856	14,952

●施策を構成する事業

構成事業1 生徒指導推進事業

【指導課】

○学校・家庭・地域が一体となった取組の中で、青少年の健全育成を図るとともに、中学生の主張大会を開催します。

構成事業2 子どもサポートチーム事業

【指導課】

○子ども支援のためのサポートチームを編成し、いじめ、不登校、児童虐待等個別課題を有する児童・生徒へのケア及び未然防止に努め、課題の早期解決を支援します。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 児童・生徒に、生命の大切さや善悪の区別など基本的な倫理観や規範意識を身につけさせるよう、生徒指導体制の確立に努め、いじめ・不登校・児童虐待等へのきめ細やかで迅速な対応が行われるように、児童・生徒、学校、家庭への支援体制の推進を図ることができました。

平成23年度(2011年度)から、すべての中学校ブロックに1名のスクールソーシャルワーカー(※)を配置し、いじめ・不登校・児童虐待等の個別課題を有する児童・生徒へのケア及び未然防止等支援体制の充実を図りました。【指導課】

(※) スクールソーシャルワーカー

学校だけでは解決困難な生徒指導上の諸問題を解決するために、その児童・生徒が置かれた環境への働きかけや、関係機関とのネットワークの構築、学校内におけるチーム体制の構築・支援、保護者・教職員等に対する支援・相談・情報提供を行う社会福祉等の専門家

- 中学生の主張大会の開催は29回を数え、青少年の健全育成の推進に大きく貢献できました。【指導課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 各学校の生徒指導体制の強化を図り、引き続きいじめ・不登校・児童虐待等の個別課題を抱える児童・生徒へのケア及び未然防止のため、子どもサポートチームを編成し、児童・生徒、学校、家庭への支援体制を図ります。また、すべての中学校ブロックに1名のスクールソーシャルワーカー配置の2年目を迎え、さらに充実した支援体制のサポートを進めます。【指導課】
- 中学校におけるいじめ防止等の取組を、生徒会活動に取り入れるなど、活性化をめざします。【指導課】

参考となる指標

SSW活用事業の活動記録

	学校訪問回数	校内ケース会議回数	関係機関との連携ケース会議回数	事例対応件数	教職員向け研修回数	家庭訪問回数
H22年度 (2010年度)	83	128	132	475	12	1
H23年度 (2011年度)	425	309	78	390	23	45

【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート								
基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します								
施策	キ 教育相談の充実							
不登校、情緒、行動、発達等のさまざまな悩みに対応するため、教育センターでの来所相談・電話相談を実施するとともに、小・中学校へ出張教育相談員及びスクールカウンセラーの派遣を行います。また、不登校児童・生徒を対象に、「光の森活動」「学びの森活動」「家庭訪問活動(光の森)」を実施して教育相談の充実を図ります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>75,039</td> <td>82,309</td> <td>70,866</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	75,039	82,309	70,866
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
75,039	82,309	70,866						
●施策を構成する事業								
構成事業1 教育相談推進事業		【教育センター】						
○来所・電話相談を実施します。○教育相談員を学校へ派遣します。 ○不登校児童生徒支援事業の実施及び一層の充実を図ります。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 教育相談推進事業については、出張・来所・電話相談の相談回数は7,200回を超え、教育相談を通して子どもの多様な諸課題への対応を充実させました。【教育センター】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 子どもの多様な諸課題に、さらにきめ細かく対応できるよう、相談員の資質向上を図り、相談体制をより充実させます。【教育センター】
- 「光の森」(※1)「学びの森」(※2)活動の充実により、不登校児童・生徒へのより効果的な支援を行います。【教育センター】

(※1)「光の森」

主に、心的な要因で、学校へは登校できないが、外出が可能な児童・生徒を対象に、様々な体験的な活動や学習をとおして集団づくりを行い、学校への復帰など社会的自立を図っていく活動。主に自然体験交流センターで活動

(※2)「学びの森」

主に、心的な要因で、学校へは登校できないが、外出が可能な児童・生徒を対象に、個別の学習支援を中心とした活動を行い、社会性の育成を図りながら、学校復帰を目指す活動。主に竹見台多目的施設(南竹見台小学校跡地)で活動

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	ク 進路指導の充実							
キャリア教育を学校教育活動に位置づけ、将来に対する目的意識や展望を育む取組を系統的、継続的に進め、主体的に自己の進路を選択する能力や態度を養うとともに、多様化する進路選択の情報を提供し、目的意識を持って進学できるよう進路指導の充実を図ります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,145</td> <td>1,187</td> <td>1,161</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	1,145	1,187	1,161
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
1,145	1,187	1,161						
●施策を構成する事業								
構成事業1 職業体験等支援事業		【指導課】						
○中学生の職業体験学習やボランティア体験活動を実施します。 ○体験先の器物破損や怪我をさせた時の保険に加入します。								
構成事業2 中学生の進路指導		【指導課】						
○各中学校で吹田市進路協議会との連携を図り、中学生の進路指導の充実に取り組みます。								
構成事業3 進路選択支援事業		【教育政策室】【教育センター】						
○進路選択相談のための相談窓口を設置し、経済的理由などにより、自己の進路を躊躇断念することのないように支援します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 吹田市進路指導協議会(※)に参加し、多岐にわたる選抜の種類等、複雑化している公立高等学校入試者選抜に関する情報を提供し、各中学校において円滑に進路指導に取り組むことができました。【指導課】
 - (※)吹田市進路指導協議会
 - 各中学校の教職員の代表により構成され、進路指導の充実を図ることを目的とした協議会。
 - 各校の進路指導を検証するとともに、生徒の進路先との情報交換や連携・協議を活発にするなどの連携を深め、継続性のある進路指導を推進する。
- 相談員が関係機関や高校とのケース会議や、吹田市進路指導協議会に出席し、情報交換等を行うことで、より効果的な支援につながりました。【教育センター】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 吹田市進路指導協議会をとおして中・高連携をより推進し、中学生の進路指導の充実を図ります。【指導課】
- 市内の中学校3年生の全生徒に進路選択支援事業のチラシを配付し、市報に掲載するとともに公立中学校を訪問するなどの事業の周知を図るなかで、奨学金に関する相談等一人ひとりのニーズに応じた支援を行っていきます。【教育政策室】【教育センター】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
基本方向1 小中一貫教育を通して「総合的人間力」を育成します

施策	ケ 特別支援教育の充実							
<p>配慮を要する児童・生徒一人ひとりの障がいなどの実態に応じた教育課程を編成・実施し、個別の教育支援計画に基づいた教育内容の精選と指導方法の充実に努めます。また、配慮を要する児童・生徒への支援に関する研究、研修を推進するとともに、学校での支援体制の確立と保護者、関係機関との連携を進め、特別支援教育の充実に図ります。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>314,786</td> <td>335,787</td> <td>286,327</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	314,786	335,787	286,327
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
314,786	335,787	286,327						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1	障がい児介助員配置事業	【指導課】						
<p>○障がいを有する児童・生徒の学校活動を円滑に推進するため、障がい児介助員を小・中学校に配置します。 ○夏季休業日中・放課後の留守家庭児童育成室の児童の事故等に備え保険に加入します。</p>								
構成事業2	支援学級支援事業	【指導課】						
<p>○肢体不自由児訓練士を学校に派遣します。 ○就学指導委員会を設置し、情報提供や相談を中心とした面談を実施します。 ○階段昇降機の修繕・設置に取り組みます。</p>								
構成事業3	通学支援事業	【指導課】						
<p>○市内肢体不自由学級センター校の高野台小学校に在籍する児童の中で、校区外から通学する者に対して、自宅から学校までの送迎のためリフト付きワゴン車を運行します。</p>								
構成事業4	特別支援教育推進事業	【教育センター】						
<p>○発達相談員を活用するとともに、学校・園への巡回相談や教職員研修を通じた校内支援に取り組みます。</p>								
構成事業5	手話通訳派遣事業	【指導課】						
<p>○聴覚障がいの保護者に対し、学校での懇談会・教育相談等に手話通訳者を派遣します。</p>								
構成事業6	市町村医療的ケア体制整備事業	【指導課】						
<p>○医療的ケアを必要とする児童・生徒が在籍する学校に看護師資格を有する介助員を配置します。</p>								
構成事業7	配慮を要する園児への対応	【幼稚園課】						
<p>○配慮を要する園児の園生活を円滑に推進するために、介助員を幼稚園に配置します。</p>								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 人権尊重と社会連帯の精神・ノーマライゼーションの理念に立脚して、すべての児童・生徒が、ともに学びともに育つように、全校的な支援体制のもとに、教育活動の推進を図っています。支援学級に在籍する児童・生徒は、平成23年度(2011年度)に682名となり、平成14年度(2002年度)の362名から10年間で約2倍という現状となり、また、障がいの状況も多様化しています。しかし、障がい児介助員の配置については、55名体制のままであり、児童・生徒が円滑に学校生活をおくれるよう、各校で支援体制を組む上で様々な工夫が必要となっています。【指導課】
- 吹田支援学校による地域支援体制を活用し、拠点校を前期5校、後期5校指定し、吹田支援学校より指導教諭等が定期的に巡回し、支援学級での指導への専門性を活かした助言や保護者等も含めた教育相談を行うことで、特別支援教育の充実に図ることができました。【指導課】

○ 聴覚障がいのある保護者に対して、手話通訳者を派遣することにより、学校での行事等に円滑な対応を図ることができました。【指導課】

○ 医療的ケア（※）を必要とする児童・生徒が在籍する10校に24人の看護師資格を有する介助員を配置し、対象児童・生徒の学校生活が円滑におくれるように支援を図ることができました。【指導課】

（※）医療的ケア

経管栄養、吸引、吸入、導尿等、医療的な行為

○ 子どもの発達課題等に対応するため、全ての公立幼稚園と小・中学校を訪問して巡回相談を実施するとともに、特別支援教育研修を充実させ、教職員への支援を図ることができました。

【教育センター】

○ 配慮を要する園児への介助員の配置については、31名の介助員を各園の状況に応じ配置し、園児が園生活を円滑に送れるように支援体制を図ることができました。【幼稚園課】

◆平成24年度（2012年度）の方針

○ 障がいのある児童・生徒への支援を行い、教育活動の充実を図っていきます。特に、アルバイトを含む障がい児介助員の配置については、よりきめ細かな支援体制をめざし、児童・生徒、保護者等のニーズに応じた対応が図れるように支援を行います。【指導課】

○ 支援学級の通学支援や手話通訳派遣事業については、引き続き、児童・生徒、保護者のニーズに応じた対応が図れるように支援を行います。【指導課】

○ 医療的ケアを必要とする児童・生徒が増加していますが、対象の児童・生徒が円滑に学校生活を送れるように、さらなる充実を図ります。【指導課】

○ 子どもの発達課題へのよりの確な対応を図るため、学校・園との連絡を密にして、巡回相談体制の強化を図ります。また、個別の支援計画の策定に向けて特別支援教育研修のさらなる充実を図ります。【教育センター】

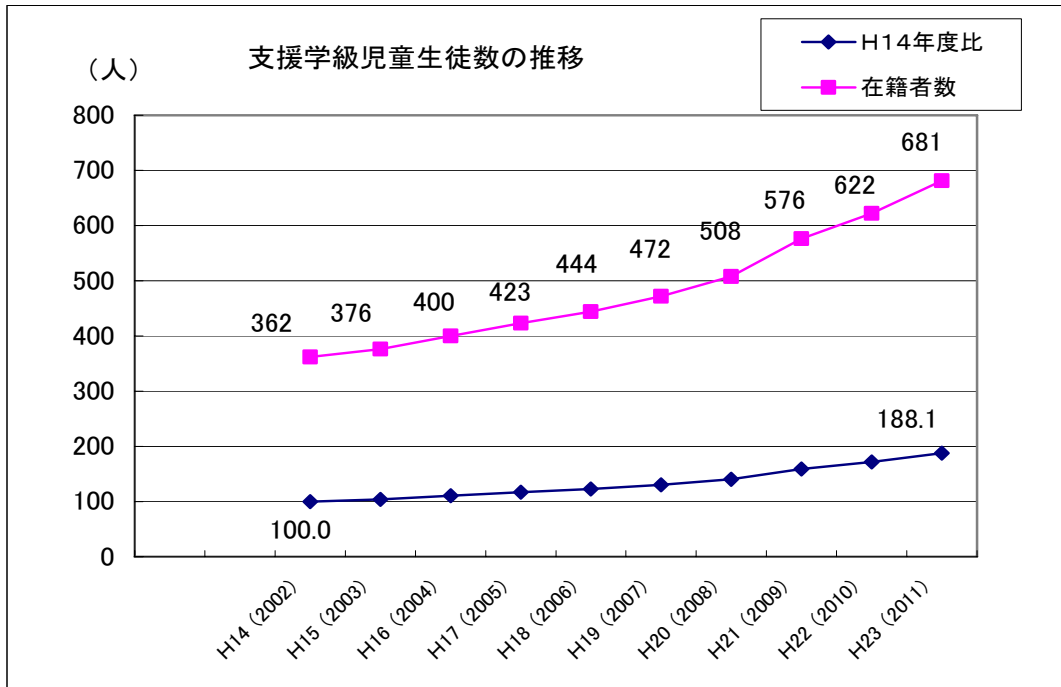
○ 発達課題のある児童・生徒及び配慮を要する園児一人ひとりのニーズや状況に応じたきめ細かな指導を行うために、個別の教育支援計画、個別の指導計画の作成及び活用を進めます。

【教育センター】

○ 配慮を要する園児が増加している中、介助員の配置については、各園の状況を把握し、よりきめ細やかな支援体制で、園児が円滑に園生活を送れる対応が図られるよう支援を行います。

【幼稚園課】

参考となる指標



【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向2 「総合的人間力」の基礎を培う幼稚園教育を進めます

施策	ア 人とかかわる力を育む保育の充実							
4、5歳児が共に育ち合う異年齢児保育を充実するとともに、地域の保育園児・小学生・中学生・高校生との交流や高齢者施設への訪問など、さまざまな人との交流を通して人とかかわる力を育む保育を充実します。								
<table border="1"> <tr> <td>H22年度決算額(千円)</td> <td>H23年度予算額(千円)</td> <td>H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td>294</td> <td>300</td> <td>281</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	294	300	281
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
294	300	281						
●施策を構成する事業								
構成事業1	幼稚園異年齢児保育事業	【幼稚園課】						
○学齢でクラスを分けるのではなく、4歳児と5歳児が同じクラスで過ごし、活動を共にする中で、異年齢児が自然に関わり合い、お互いに刺激しあいながら、人とかかわる力や思いやりを育みます。(市立幼稚園全園で実施)								
構成事業2	視聴覚鑑賞費補助事業	【幼稚園課】						
○幼稚園で実施する観劇などの視聴覚行事において、保護者負担の一部を助成します。(平成23年度末事業廃止)								
構成事業3	保育園・幼稚園連絡会の開催	【幼稚園課】						
○保育園・幼稚園を同じ就学前保育・教育の機関として、連絡会を設置し、相互の保育・教育内容に関する共通理解とより一層の保育・教育の充実をめざします。								
構成事業4	公・私立幼稚園連絡会議の開催	【幼稚園課】						
○幼児教育の振興発展のため、子育て支援等を共通のテーマにして、公・私立幼稚園で情報交換や合同研修を実施し、幼児教育のあり方等について研究します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 本市の幼稚園教育の特色として、4歳児・5歳児が同じ学級で過ごすことにより、自然な関わりの中で異年齢の交流をより活発にし、「人と関わる力」を育むことを目的に異年齢児保育を実施しています。本事業について、保護者アンケートでは、「異年齢児学級保育は、人との関りを深めていると思う」の項目で高い評価を得ています。実施にあたっては全教職員が連携をとり、子どもの年齢、発達、興味等の個人差を考慮し、子ども一人ひとりに応じたきめ細やかな指導や安全面の配慮等を行っています。また、園児定員を弾力的に運用することにより、4歳児の待機児を解消し、市立幼稚園を希望する園児全員を受け入れることができました。

【幼稚園課】

- 本市の幼児教育のあり方等について、市立保育園・幼稚園連絡会において、研究・検討を進めるとともに地域部会(69回)を開催し、地域の実情に応じた連携を深めました。【幼稚園課】
- 幼稚園課主催の研修へ私立幼稚園の教諭にも参加をよびかけ、共に幼児教育について考える機会を設けることができました。【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 本市の幼稚園教育の特色である異年齢児保育を継続実施するとともに、適宜同年齢児保育もを行い「人とかかわる力」を育みます。【幼稚園課】
- 公私立保育園や私立幼稚園と合同研修や連絡会、研究集会を通じて、交流を図り、本市の幼児教育のあり方等について、研究・検討を進めます。【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向2 「総合的人間力」の基礎を培う幼稚園教育を進めます

施策 イ 小学校との円滑な接続を重視した保育内容の充実

小学校と意見交換や合同研究の機会を設けるとともに、教育内容やカリキュラムの連携を進め、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図ります。また、特別な支援を要する園児（幼児）については、個別の教育支援計画を作成し、保護者や関係機関と連携しながら教育内容の充実を図るとともに、子どもたち一人ひとりが安心して小学校生活に移行できるように連携を進めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
-	16	15

●施策を構成する事業

構成事業1 幼稚園・小学校の人事交流 【幼稚園課】

○幼稚園から小学校における育ちを間断なく適切に引き継ぐとともに、指導内容の系統性及び指導方法の一貫性の確立を目指して人事交流を実施します。

構成事業2 合同研修の実施 【教育センター】【幼稚園課】

○幼稚園と小学校の職員が共に参加できる研修を計画・実施します。

構成事業1 新1年生の統一見学日 【幼稚園課】

○就学前の保護者と子どもが、入学予定の小学校を見学し、入学への期待を育みます。

◆平成23年度（2011年度）取組に対する評価

- 幼稚園教育要領で、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続のための連携の必要性が示されていることから、市立幼稚園、小学校間で園児・児童の交流のみならず、教員同士の保育・授業参観への相互参加、合同研修開催等、職員間の連携を図っています。平成23年度（2011年度）においては、小学校・幼稚園との教員の人事交流については、交流の条件に該当する者がなく実施できませんでした。幼稚園教諭と共に、小学校低学年を担当する小学校教諭を対象とする研修を開催しました。また、同年齢児保育において、5歳児が小学校へスムーズな移行が行えるように、小学校の教育内容との連携や、1年生や5年生との交流、小学校の行事や給食への参加などを年間計画の中に位置づけることができました。【幼稚園課】
- 平成19年度（2007年度）より実施している「新1年生の統一見学日」については、全小学校において午後開催となり、多くの就学前の保護者・子どもの参加がありました。【幼稚園課】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 幼児の生活及び発達や連続性を踏まえ幼稚園・小学校との連携を強化し、接続を見通した教育課程が編成できるように教員の資質向上を図ります。【幼稚園課】
- 幼稚園教諭と小学校教諭を対象とする研修会を開催します。【教育センター】【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向2 「総合的人間力」の基礎を培う幼稚園教育を進めます

施策 ウ 子育て支援の推進

安心して子育てができる環境づくりの一環として幼稚園を地域に開放し、保護者が子育ての楽しさを実感し、互いに支えあって子育てに取り組むことができるよう支援するとともに、地域の幼児に遊びの場や機会を提供するなど「幼児教育センター」としての役割を進めます。
 また、保護者の子育てを支援するため、教育課程に係る教育時間終了後等に行う教育活動として「預かり保育」を推進します。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
5,012	6,353	4,990

●施策を構成する事業

構成事業1 子育て支援活動事業 【幼稚園課】

○園庭の開放や未就園児の行事参加、子育て講座などを実施し、幼児教育センターとしての役割を担います。また、これらの行事参加者のケガに備え、行事保険に加入します。(平成23年度は未就園児対象の保育活動・行事 346回、園庭・園舎の開放 1,507回、子育て講座・講演会・相談 386回、子育てサークル 62回実施)

構成事業2 私立幼稚園健康診断助成事業 【幼稚園課】

○私立幼稚園が行う園児の健康診断に対し、助成金を支給します。(平成23年度は4歳児1,484人、5歳児1,441人の合計2,925人分の補助金を支給)

構成事業3 預かり保育モデル事業 【幼稚園課】

○吹田市立幼稚園の教育課程にかかる教育時間の終了後に、午後4時まで、保育の必要な園児に預かり保育を行います。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市立幼稚園が家庭や地域との連携を深め、地域の実態や保護者の要請等を踏まえ、積極的に子育ての支援をしていくために、①園庭・園舎の開放、②未就園児の保育活動・行事参加、③保護者交流のための子育て井戸端会議、④子育て講座・講演、⑤高齢者や小・中・高校生との交流、⑥保育園、子育てサークル等との交流などを実施し、地域における幼児期教育のセンターとしての機能を果たすよう努めました。特に全園で3歳児教室、「まちかど子育て絵本館」(絵本貸し出し)などに積極的に取り組みました。

また、地域の人が安心してこれらの活動に参加・参画できるように行事保険に加入し、支援活動の充実を図りました。【幼稚園課】

- 預かり保育モデル事業として千里新田幼稚園、豊津第一幼稚園、南山田幼稚園、古江台幼稚園の市立幼稚園4園で預かり保育を実施し、子どもが安心安全に過ごせる場所を提供しました。

【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 幼児の家庭や地域での生活経験が豊かになるように、地域の実態や保護者の要請を踏まえ、引き続き、園庭・園舎の開放や、子育て相談、3歳児教室、まちかど子育て絵本館に、積極的に取り組みます。また、安心してこれらの活動に参加できるように行事保険に加入し、子育て支援活動の充実を図ります。【幼稚園課】

- 引き続き預かり保育モデル事業を実施し、事業内容について検討します。【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策	ア 推進体制の基盤整備							
「第2次生涯学習推進計画」に基づき、総合的な施策の推進を図るとともに、市民の参画や専門的な学習資源である市内にある5つの大学などの高等教育機関・社会教育施設・関連施設等との緊密な連携による生涯学習推進体制の整備に努めます。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3,663</td> <td style="text-align: center;">3,738</td> <td style="text-align: center;">3,570</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	3,663	3,738	3,570
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
3,663	3,738	3,570						
●施策を構成する事業								
構成事業1	地域交流室運営事業	【生涯学習課】						
○桃山台小学校・山手小学校の教室を地域住民が利用できる地域交流室として開放し、学習活動を支援します。								
構成事業2	小中学校教室開放事業	【生涯学習課】						
○吹田市立小・中学校の多目的教室などを学校教育活動に支障のない範囲で、地域の団体に無償で開放します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市民の聞きたい、知りたいという学習意欲に応えるために、市の職員が担当している業務やこれから取り組もうとしていることについて、出張して話をする吹田市生涯学習出前講座と、桃山台小学校、山手小学校の地域交流室の開放事業並びに、すべての小学校の多目的教室と一部の小学校の特別教室を地域の団体に身近な学びや活動の場として開放する小・中学校教室開放事業を実施し、市民の生涯学習の支援を行いました。【生涯学習課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 生涯学習の推進については、第2次吹田市生涯学習推進計画に基づき学習の支援だけでなく、学習の成果を活かす機会の創設や、生涯学習情報や関連施設のネットワーク化を更に押し進めることなどの施策を実施していきます。【生涯学習課】
- 桃山台小学校・山手小学校の地域交流室、すべての小学校の多目的教室などを学校教育活動に支障のない範囲で地域団体に開放し、生涯学習の場の拡充に努めるとともに、市職員が地域に出向き、担当業務や施策について話す「出前講座」を実施し、市と市民が共に学び、考える場である「いつでも」「どこでも」「だれでも」学ぶ意欲を具体化できるような学習環境の充実に引き続き努めます。【生涯学習課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策	イ 学習プログラムの充実							
生涯学習の中核的な役割を担う地区公民館・図書館をはじめとする社会教育施設では、相互の連携を図るとともに、すべての市民を対象に幅広い学習機会の保障と、市民の多様な学習ニーズに応じた学習内容の充実に努めます。								
<table border="1"> <tr> <td>H22年度決算額(千円)</td> <td>H23年度予算額(千円)</td> <td>H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td>247,632</td> <td>312,818</td> <td>359,416</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	247,632	312,818	359,416
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
247,632	312,818	359,416						
●施策を構成する事業								
構成事業1	生涯学習吹田市民大学事業	【生涯学習課】						
○生涯学習推進計画に基づき、市民の生涯学習活動を支援するため、生涯学習吹田市民大学オリジナル講座コースを開設します。 ○市役所各所管で実施している講座等情報をまとめて掲載した「学びの情報」を発行します。								
構成事業2	市展運営委託業務	【生涯学習課】						
○公募による吹田市美術展覧会を開催し、市民の創作活動の向上を図るとともに美術鑑賞の機会を提供します。(平成24年度より市長部局へ事業移管)								
構成事業3	文化祭運営委託業務	【生涯学習課】						
○市民文化祭を開催し、市民に芸術文化活動と芸術鑑賞の機会を提供します。(平成24年度より市長部局へ事業移管)								
構成事業4	ロビーコンサート	【生涯学習課】						
○昼休みの時間帯に市役所本庁舎の玄関ロビーでコンサートを開催します。(平成24年度より市長部局へ事業移管)								
構成事業5	地区公民館事業	【中央公民館】						
○趣味や教養、現代的課題など、生活に即した講座を通じて地域住民の生涯学習活動の支援を実施します。								
構成事業6	中央公民館事業	【中央公民館】						
○生涯学習吹田市民大学関西大学講座、子育て教室などの各種講座や教室を通じて学習活動を支援します。								
構成事業7	図書館貸出閲覧事業	【中央図書館】						
○中央図書館を中心に、千里館、さんくす館、江坂館、千里山・佐井寺館、山田駅前館、北千里分室、山田分室の6館2分室と毎月市内31か所を巡回する自動車文庫1台で図書の貸出し、閲覧を実施します。 ○市内各図書館で毎日開館し、利用者の図書館利用を支援します。								
構成事業8	図書館協議会活動	【中央図書館】						
○図書館法に基づく図書館協議会から出された意見をもとに図書サービスの拡充について検討します。								
構成事業9	子どもたちに読ませたい100冊の本の選定	【中央図書館】						
○本に親しむ環境づくりを図るため、市民委員の参加する選定委員会で選定された100冊の本を全図書館に設置し貸し出しを行います。								
構成事業10	図書館主催事業	【中央図書館】						
○図書館をPRし、読書に親しむ機会を提供するため、子どもや保護者向けの行事として「子どもと本のまつり」「子どもと本の講座」を、一般対象に「図書館じゅずつなぎ講座」「江坂ロビーフェスタ」などの講座、講演会を開催します。								
構成事業11	和の学校伝統文化こども(親子)教室事業	【博物館】						
○次世代を担う子どもたちに、我が国の伝統文化を継承し、発展させるとともに、子どもたちが歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度と人間性を育てるため、茶道や正月の注連縄作りなど各種教室を開催します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 「生涯学習吹田市民大学」オリジナル講座コースを、前期2コース・後期2コース開講しました。

テーマは受講者の年齢層にも配慮し、市民に学んでいただきたい情報を提供するコースも設定するよう努めました。また、市内の大学との連携講座につきましても、これまで連携講座を開催してきました関西大学・千里金蘭大学以外に大阪学院大学との連携講座を1回開催し、また市役所各所管で実施している講座等情報を掲載した冊子「学びの情報」を前期・後期の計2回発行することにより、市民への生涯学習情報の提供を促進しました。【生涯学習課】

- 平成22年度（2010年度）まで実施していた公民館研究集会を見直し、地区公民館長を対象とした研修会を実施しました。平成23年度（2011年度）は、「組織とマネジメント」について外部講師を招き研修を行い、地区公民館長の資質向上が図れました。【生涯学習課】
- 中央公民館事業では、全市域の市民を対象にした各種講座や教室を実施し、多くの市民に学習機会を提供できました。【生涯学習課】
- 地区公民館講座では、地域の特色を活かした各種講座を開設し、地域住民に身近に学習機会を提供しました。講座の内容は趣味・教養だけでなく、人権問題や高齢化問題などの現代的課題（行政課題）にも取り組み、公民館運営審議会での意見を館長会で伝えるなど、講座の充実を図り学習プログラムの充実を推進しました。【生涯学習課】
- 図書館では、新しく開館した山田駅前図書館を含め全館での毎日開館や、視聴覚資料の予約サービスを開始により、市民の利便性の向上と施設の有効利用を図るとともに、資料の貸出増加に寄与しました。【中央図書館】
- 図書館では、ブックスタート（※）をはじめ乳幼児と保護者対象の事業を充実させることで、読書習慣や図書館利用のきっかけづくりを推進しました。【中央図書館】

（※）ブックスタート

0歳児のいる家庭に絵本を配布し、本を通じ親子の絆を深め、幼児の成長を支援する事業

- 公募吹田市美術展覧会、市民文化祭、昼休みの市役所ロビーでのコンサートを開催することにより、芸術に親しむ機会の提供や、市民の多様化する自主的な文化活動を支援し、本市における美術の発展と文化活動を礎とした市民意識の向上に資することができました。【生涯学習課】
- 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）で、茶道等の伝統文化を学ぶことができる和の学校伝統文化こども（親子）教室を実施したところ、延べ191名が参加し、参加者の歴史や伝統、文化に対する関心や理解を深めることができました。【文化財保護課】

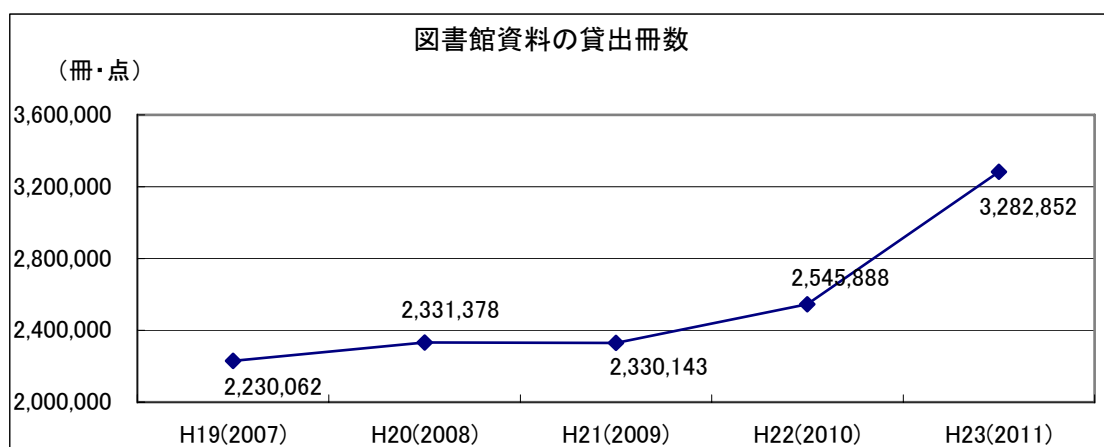
◆平成24年度（2012年度）の方針

- 市民の生涯学習活動を支援するにあたり、各所管・施設と連携を図りつつ、「生涯学習吹田市民大学」の講座を体系的に整理し、引き続き市民の関心やニーズの高いテーマの講座を開催するとともに、学習内容の充実を図れるよう努めます。【生涯学習課】
- 市民の学習支援にあたっては、それぞれの学習の場において市民の人権意識の高揚が図られるよう努めます。【生涯学習課】
- 歴史・文学・教育・社会をテーマにしている生涯学習吹田市民大学事業においては、関西大学、千里金蘭大学と引き続き連携して開催するとともに、大阪学院大学とも今年度から複数回の連続講座を開催できるよう協議します。【生涯学習課】
- 子育て教室など全市域を対象とした講座や教室の充実に努めます。【生涯学習課】
- 地区公民館講座については、多様化する現代的課題、社会的課題に取り組むとともに、地域

のニーズを活かした事業の一層の充実に努めます。【生涯学習課】

- 図書館では、「いつでも」「どこでも」「だれでも」利用できる、市民本位の図書館サービスを行うと共に、生涯学習を支援する中核施設として、また、地域の情報センターとして、市民との協働や学校との連携などを通じ、地域コミュニティの活性化や地域文化、教育力の向上などに資する図書館事業の展開を図ります。【中央図書館】
- 市民サービス向上と図書館資料の有効活用を図るため、豊中市立図書館との相互利用の試行を実施していきます。【中央図書館】
- 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）での、茶道を中心とした和の学校伝統文化こども（親子）教室の拡充に取り組みます。【文化財保護課】

参考となる指標



【中央図書館】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育

基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策 ウ 学習情報への支援

市民の学習活動を促進するため、講座・イベント情報、団体情報、人材情報、施設情報など多面的な学習・文化・スポーツ情報の収集と提供に努めるとともに、市民のさまざまな学習相談に応じ、適切に指導・助言ができる体制を整備します。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
3,504	3,910	2,541

●施策を構成する事業

構成事業1 生涯学習推進本部事業

【生涯学習課】

○生涯学習推進計画に基づき、生涯学習推進のための調査・研究等の本部事務を行うとともに、「ひろがれ」(生涯学習関連施設情報)・「もよおしいろいろ」(講座イベント情報)・「出前講座」(職員派遣講座)・「ひとの宝箱」(生涯学習人材バンク登録者名簿)・「さ〜くるネット吹田」(生涯学習活動団体情報)を活用し、学習情報・機会等を提供します。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 生涯学習施設情報を「ひろがれ」、講座イベント情報を「もよおしいろいろ」、人材情報を「ひとの宝箱」、生涯学習活動団体情報を「さ〜くるネット吹田」として生涯学習情報誌の発行を行うとともに、インターネット上でも同一情報を提供し、生涯学習関連情報の提供の充実を図りました。【生涯学習課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 学習情報については、学習情報誌の発行とインターネットを使つての情報提供により、生涯学習関連施設、講座、教室等のもよおし案内、生涯学習活動指導者の人材情報、生涯学習活動団体の情報を提供していきます。【生涯学習課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育

基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策	エ 地域スポーツの振興							
<p>すべての人が、「いつでも、どこでも、いつまでも」気軽にスポーツに親しめるよう、身近な学校体育施設をより有効に活用した地域スポーツの振興を図ります。また、体育指導委員が、各地区体育振興（協議）会などのスポーツ関係団体の協力を得て、より充実した地区スポーツプログラムの企画及び実技指導・助言を行うことができるよう取組を進めます。さらに地区市民体育祭では、子どもや高齢者の参加を促進できるような運営方法やプログラムの充実を努めます。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19,429</td> <td>19,392</td> <td>19,329</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	19,429	19,392	19,329
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
19,429	19,392	19,329						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1	地域スポーツ振興事業	【体育振興室】						
<p>○地域スポーツ振興事業として、地域ごとの各種競技会や全市規模のスポーツ交流会を開催します。 (平成23年度は27,680人が参加)</p>								
構成事業2	各地区市民体育祭補助事業	【体育振興室】						
<p>○全小学校区で市民体育祭を実施するための補助金を交付します。 (平成23年度は82,980人が参加)</p>								

◆平成23年度（2011年度）取組に対する評価

- 多くの市民が自分の体力に合ったスポーツに参加できるよう、地域ごとのスポーツイベントを実施し、生涯学習スポーツの促進に取り組みました。【スポーツ推進室】
- 各地区で実施される市民体育祭に補助金を交付することにより、市民のスポーツへの関心を高めることができました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 各団体が、誰もが気軽に参加できるニュースポーツの開発に取り組みながら、地区スポーツプログラムの充実に努めます。【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育

基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策	オ スポーツイベント・プログラムの提供							
<p>すべての人を対象に、年齢や体力に応じたきめ細やかなスポーツ教室の充実を図るとともに、ニュースポーツの開発など、多様なスポーツプログラムの提供に努めます。市長杯（旗）大会は、スポーツ振興に欠くことのできない事業であり、今後も内容の充実に努めます。また、一人でも多くの市民がスポーツに関心を持ち、親しめるよう、高度なスポーツイベントにふれる機会の創出に努めます。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>29,075</td> <td>29,463</td> <td>29,515</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	29,075	29,463	29,515
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
29,075	29,463	29,515						
● 施策を構成する事業								
構成事業1	主催スポーツ教室実施事業	【各施設】						
○ 主催スポーツ教室を実施します。 (平成23年度は 122,106人が参加)								
構成事業2	共催スポーツ教室実施事業	【各施設】						
○ 共催スポーツ教室を実施します。 (平成23年度は 130,830人が参加)								
構成事業3	市民体育館スポーツ講座「運動はええよ!」の実施事業	【各体育館】						
○ 市民体育館スポーツ講座「運動はええよ!」を実施します。 (平成23年度は 計11回実施、644人が参加)								
構成事業4	体育指導員による館外指導事業	【各体育館】						
○ 児童センター・保育園・地域団体等が行うスポーツ教室などに体育指導員を派遣し、体育指導を実施します。 (平成23年度は 105件派遣、4,900人が参加)								
構成事業5	柔道・剣道・弓道の個人使用利用者指導事業	【武道館】						
○ 柔道・剣道・弓道の個人使用利用者に対して指導を実施します。 (平成23年度は 計390回実施、7,955人が利用)								
構成事業6	武道館フェスティバル・武道祭実施事業	【武道館】						
○ 武道館フェスティバルを開催します。 (平成23年10月16日開催、580人が参加)								
構成事業7	市長杯大会等の実施事業	【体育振興室】						
○ 体育協会加盟31種目で吹田市長杯大会等を実施します。 (平成23年度は 36,333人が参加)								
構成事業8	スポーツ大会参加助成金交付事業	【体育振興室】						
○ 国等が開催するスポーツ大会に参加する選手等に対し、交通費と宿泊費の一部を助成します。 (平成23年度は 158人に交付)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市民の生涯スポーツ推進のため、幼児から高齢者までを対象とし初心者から参加できるスポーツ教室の開催、健康づくりの情報提供をする市民体育館スポーツ講座の開催、PTA、高齢クラブなどを始めとする各種団体、サークルへの体育館指導員館外指導事業の展開など幅広いスポーツの普及に努め、生涯スポーツの促進に寄与しました。【市民体育館】
- 市民体育館では、保健センターとの連携による「内臓脂肪解消セミナー」において運動指導を行うなど、各自のライフスタイルに合った運動習慣等の行動変容を促し、メタボリックシンドロームからの脱却に取り組みました。【市民体育館】
- 市長杯大会や各種スポーツ教室の開催及び国等が開催するスポーツ大会に参加する選手等に対し助成金を交付することにより、スポーツの振興に寄与しました。【スポーツ推進室】

- 武道館において、柔道・剣道・弓道の個人使用者への指導や武道館フェスティバルを開催することにより、武道の普及に寄与しました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 成人の週1回以上のスポーツ実施率の向上をめざし、誰もが気軽に参加できる各種スポーツイベントを開催します。【スポーツ推進室】
- 市長杯大会等の実施や健康づくりフェスティバル4事業及び国等が開催するスポーツ大会の参加経費への補助を継続することにより、スポーツの振興を図ります。【スポーツ推進室】
- 各体育館の指導員による吹田ケーブルテレビの“3分間”で手軽にできる体操『らくらくフィットネス』を引き続き実施し、市民の健康の保持・増進に寄与します。【市民体育館】
- 福祉保健部と共同で創作した「すいた笑顔（スマイル）体操」の普及に努め、幼児から高齢者まで生涯スポーツの促進を図ります。【市民体育館】
- 主に低体力者を対象とした健康づくり事業として『eスポーツ・プロジェクト』（※）を地域と市民体育館が協働で実施し、新たな地域スポーツ振興を図るとともに、全市への拡充を検討します。【市民体育館】

（※）eスポーツ・プロジェクト

主にスポーツに親しみの無かった方々を対象に、気軽に楽しくスポーツに取り組んでいただき、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会のより一層の充実を図るため、地域スポーツ関係団体との連携を図り、市民自主運営及び、それをサポートする体制づくり等々、地域と行政とのパートナーシップをより強化するためのプロジェクト。平成24年度（2012年度）においても、JR以南地域（吹一・吹六地区、東地区、吹三地区）で継続して事業を実施します。

- 市民体育館において、保健センターとの連携による「内臓脂肪解消セミナー」を開催し、各自のライフスタイル合った運動習慣等の行動変容を促進するため、運動指導のより一層の充実を図ります。【市民体育館】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策 力 健康づくり事業の推進と高齢者・障がい者スポーツの振興

健康の保持・増進と生活習慣病の予防や改善のために、身体活動や運動を日常生活の中に習慣化できるよう、保健事業との連携を図り、それぞれのライフステージに応じた生涯スポーツに取り組める環境を整備します。
 また、高齢者や障がい者が健康の保持・増進を図り、健やかでいきいきとした生活が送れるような施策の充実に努めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
17,933	17,932	17,933

●施策を構成する事業

構成事業1 障がい者体育祭実施事業	【北千里体育館】
○障がい者体育祭を実施します。 (平成23年度は 466人が参加)	
構成事業2 健康づくりフェスティバル補助事業	【体育振興室】
○健康づくりフェスティバル4事業を実施するための補助金を交付します。 (平成23年度は 6,268人が参加)	
構成事業3 高齢者スポーツの指導者養成事業	【山田体育館】
○高齢者スポーツの講習会を開催し、高齢者スポーツの指導者を養成します。 (平成23年度は19人を認定)	
構成事業4 障がい者スポーツの指導者育成事業	【目俵体育館】
○障がい者スポーツの講習会を開催し、障がい者スポーツの指導者を育成します。 (平成23年度は 1回開催、17人が参加)	
構成事業5 障がい者スポーツ振興事業	【体育振興室】
○視覚障がい者スポーツの講習会を開催します。 (平成23年度は 126人が参加)	

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 障がい者スポーツ活動の指導や支援が行えるよう指導者の育成を図り、障がい者スポーツの振興に努めました。【市民体育館】
- 障がい者に対するスポーツ教室や障がい者体育祭を実施することにより、障がい者スポーツの促進、拡大に努めました。【市民体育館】【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 障がい者のスポーツ事業において、参加者相互の交流を促し、スポーツ意欲の向上と、健康の保持・増進をめざして、一層の充実に努めます。【市民体育館】【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標1 学びを高め、健やかな心と体を育む教育
 基本方向3 人生をより楽しく豊かに生きる生涯学習・生涯スポーツを進めます

施策	キ 情報の提供
市民が生涯スポーツに親しむための基盤であるスポーツ・レクリエーション情報については、広報紙・ホームページなどでの情報提供、インターネットや電話を通じて施設利用の予約等ができるオーバスシステムの普及など、市民がより入手しやすいように情報の提供に努めます。	

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
15,868	12,422	8,959

●施策を構成する事業

構成事業1	スポーツ施設情報システム管理事業	【体育総務室】
○スポーツグラウンド及び市民体育館等の施設利用システムを維持・管理します。 (平成23年度のオーバスシステム登録人数 10,705人)		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- スポーツ施設情報システムがソフト、ハード共に更新時期を迎えたため、大阪府をはじめとする16団体共同で新システムの導入を行ったことにより、従来の利用者の利便性を確保しつつ、今後の事業経費の削減が実施できました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 新スポーツ施設情報システムの活用により、利用者の利便性の向上を図るとともに、より使いやすいシステムの充実をめざします。【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向4 豊かな社会の実現に向けた人権教育を進めます

施策	ア 人権教育の推進
-----------	------------------

「人権教育を推進するための指針」に基づき、人権教育を計画的・総合的に推進するとともに、各学校の取組においては人権尊重の視点に立ち、児童・生徒一人ひとりに自尊感情を育み、多様な個性や価値観を認め合い、他者を思いやる人権感覚豊かな人間性を培う教育を進めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
3,753	3,836	3,620

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員研修事業

【指導課】

○教育に関する専門知識・技術の習得や、円滑な学校運営のために研修を行い、教職員の自己教育力の高揚と資質の向上に取り組みます。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 「人権教育を推進するための指針」(吹田市教育委員会)を踏まえた計画的・総合的な人権教育を推進するため、各校人権教育担当者を中心に組織的に取り組んできました。そして、教職員の人権意識を高めるために年4回と夏季2日間の研修会を設けました。

第1回担当者会では、特に幼・小・中一貫した人権教育を推進するため、中学校ブロックごとに集まり、各校の取組を共有する機会をもちました。

また、各校の担当者を中心とした推進組織の機能化、活性化をめざした研修を実施し、校内の人権研修の充実に努めることができました。教育課題に迅速かつ適切に対応できるよう、人権教育六者協議会(※)をはじめとする各研究組織・団体間の連携を深めることができました。

【指導課】【教育政策室】

(※) 人権教育六者協議会

吹田市の市立学校園の校園長会、幼・小・中学校教育研究会、小・中学校生活指導研究協議会、進路指導協議会、在日外国人教育研究協議会、人権教育研究協議会で構成され、学校園、団体が連携を図って人権教育の推進に向けた研究・協議を行う団体

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 人権教育担当者を中心に各校の人権教育の取組の組織化を図るとともに、各校教職員の人権意識の高揚、指導力の向上を図ります。そのために年4回の研修会と夏季研修会(指導課・教育政策室・教育センター共催)を実施します。

大阪府「人権教育推進プラン」、吹田市「人権を推進するための指針」を参考にした取組の普及に努めます。また、小中連携の中で中学校ブロック単位での研究活動及び交流会を促進し、小・中9年間を見通して人権感覚の育成を図るカリキュラムの研究を行います。【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
 基本方向4 豊かな社会の実現に向けた人権教育を進めます

施策	イ 人権啓発の推進							
「じんけん作品展」や人権に関わる視聴覚教材の活用、生涯学習における人権、福祉、環境など現代的課題に応じた学習内容の充実を通じて、人権を尊重することの大切さを知識だけでなく感覚として身につけ、日常的な行動として結びつくように、児童生徒をはじめとする市民に人権啓発を行っていきます。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,574</td> <td style="text-align: center;">1,778</td> <td style="text-align: center;">1,635</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	1,574	1,778	1,635
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
1,574	1,778	1,635						
●施策を構成する事業								
構成事業	じんけん作品事業	【教育政策室】						
○小・中学生等を対象に、人権に関わる作品(標語、ポスター、作文、詩等)を募集し、応募作品を活用して、じんけん作品パネル展・巡回子どもたちのじんけん作品展を開催します。また、応募された作品の中からじんけん作品集を作成・配付します。								
構成事業	人権教育映画貸出し事業	【教育政策室】						
○人権教育ビデオ・DVDを購入し、幼稚園、小・中学校をはじめ保育園、社会教育施設等へ貸出します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 学校教育や社会教育の場を通じて人権教育と人権啓発の推進に取り組んできました。
 じんけん作品事業においては、応募数が約 5,000 件を超えるなど、児童・生徒の人権への関心は高まっています。また、作品を活用した作品・パネル展等については、展示会場や展示日数を増やすことによって、より多くの市民に「人権」について考える機会を設けました。
【教育政策室】
- 人権教育映画貸出し事業においては、購入希望アンケート調査の実施によってニーズに応じた作品を購入し、延べ貸出本数は 427 本あり、映像を通じて心に響く効果は大きく、児童・生徒をはじめ市民の人権啓発に大きな役割を果たしています。【教育政策室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 一人ひとりの子どもや保護者・市民が、お互いのつながりを考え、一人ひとりの生命・人権の大切さを理解し、人権感覚豊かな人間性を培うために、じんけん作品の作成を通じて子どもたちに「人権」の持つ意味を考える機会を設け、また作品展の開催や作品集の作成・配付を通じて保護者や市民に人権意識の啓発を行います。また、人権教育映画貸出し事業では、多岐にわたる人権課題について、ニーズを把握し、子どもたちの発達段階に応じて考える機会を設けることで人権意識のさらなる高揚に努めます。【教育政策室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向5 地域の風がゆきかう学校・園づくりを進めます

施策	ア 地域に学ぶ教育の推進							
<p>教育活動の核となる学習教材や、学習の場を広く地域に求めるとともに、学校・園を支援するボランティアネットワークシステムの充実を図り、保護者や地域住民による支援体制を確立します。また、市内の大学との連携によるインターンシップ制度等の活用により、地域に学ぶ教育の推進を図ります。</p>								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">417</td> <td style="text-align: center;">543</td> <td style="text-align: center;">378</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	417	543	378
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
417	543	378						
<p>●施策を構成する事業</p>								
<p>構成事業1 学校等支援者ボランティアネットワーク事業 【指導課】</p> <p>○地域社会で活躍されている方から、学校教育支援者を広く募り、小・中学校の学校活動に協力を得て教育活動の充実を図るとともに、活動中の事故等に備え保険に加入します。</p>								
<p>構成事業2 学校等支援者ボランティアネットワークの活用 【幼稚園課】</p> <p>○小・中学校と同様に、幼稚園においても学校教育支援者を募り、幼稚園での活動に協力を得て、教育活動の充実を図ります。</p>								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 学校においては子どもを取り巻く環境の変化に応じて、いろいろな人との関わりが求められ、学校教育の多様化から、地域の人材に関わっていただくことも多くなってきていますが、諸活動に対しては無償であるため、地域の方が安心して活動できるように、活動中の事故等に備えて保険加入を行い、学校教育への支援の取組の充実を図ることができました。ボランティア活動としては、学校における読み聞かせ等の読書支援、支援学級在籍児童・生徒の学習支援、運動会等の学校行事等の補助支援を行うことができました。【指導課】
- 年間376人登録されている地域の方の学校教育支援者に、年間延べ797日、延べ1,727人、幼稚園における読み聞かせ等の保育補助や、園外保育の安全確保等の幼稚園での教育支援に関わってもらい、幼稚園での教育活動の充実を図ることができました。【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 地域に開かれた学校として地域とともに歩いていくことは大切なことであり、引き続き、学校等支援者の保険加入を行います。【教育センター】
- 地域に開かれた幼稚園として地域とともに歩いていくことは大切なことであり、保育や子育て支援に関わる地域の団体と連携・協力を図り、地域の人材、行事、施設などの資源を積極的に活用し、幼児の生活体験がより充実したものとなるように努めます。【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向5 地域の風がゆきかう学校・園づくりを進めます

施策	イ 学校・園の公開と情報の発信	
<p>参観週間の実施や学校・園便り、学校・園ホームページの活用等を通して、学校・園の教育活動の公開、発信を進めます。また、学校評議員制度等の活用により保護者や地域住民の意向の把握と協力を得るとともに、学校教育自己診断等による外部評価を実施し、学校改善に向けた取組の推進と開かれた学校づくりを進めます。</p>		
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
-	-	-
<p>●施策を構成する事業</p>		
構成事業1	開かれた学校・園づくり	【指導課】
○学校・園だよりの発行およびホームページを更新し、開かれた学校・園づくりをめざします。		
構成事業2	学校評議員の設置	【指導課】
○学校が保護者や地域住民等の意向を把握し、協力を得るとともに説明責任を果たし地域に開かれた特色ある学校づくりを促進します。		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 学校公開や参観日を設定するとともに、学校・園だよりやホームページを活用することで、教育活動の公開や発信をすることができました。【指導課】【幼稚園課】
- すべての学校・園において教育自己診断を実施するとともに、学校評議員を活用することにより学校・園改善に活かすことができました。【指導課】【幼稚園課】
- 既に作成しているホームページに加え、日々の保育の様子を発信できるブログを7園で開設しました。【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 地域に開かれた学校・園をめざし、学校・園の公開と情報発信に努めます。また、学校評議員を活用するとともに、学校自己診断による外部評価により学校・園改善をめざします。
【指導課】【幼稚園課】
- ブログの開設を進めるとともに、幼稚園開放などの取組を推進します。【幼稚園課】
- 全小・中学校に設置している学校評議員について、地域に根ざした学校教育の推進・充実を図るため制度の活性化に努めます。【指導課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策 ア 家庭教育の支援と青少年育成

地域の中でつながりが減少し、子育てを支える仕組みが崩れ、また子育ての時間を十分取れない雇用環境があることに留意しながら、社会全体が「人づくり」「子育て」「家庭教育」などについてともに考え行動できるような施策を進めます。

家庭が教育の原点であり、その教育力が重要性を増す中で、保護者等が自信を持って子育てや教育に臨めるように、情報の提供や学習機会の充実を図りながら、家庭の教育力を高める支援を行っていきます。

また、青少年育成については、青少年自身がさまざまな行事や活動へ単に参加するだけでなく、参画できるような仕組みづくりを進めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
23,751	24,821	23,025

●施策を構成する事業

構成事業1 青少年育成活動事業 【青少年室】

○ 青少年の健全育成を図るため「青少年野外コンサート」「子ども野外カーニバル」など、各種主催事業を開催します。
(平成23年度は、青少年野外コンサートに約790人が参加、子ども野外カーニバルに約14,000人が参加)

○ 新成人を対象に「成人祭」を開催します。
(平成23年度は、約2,000人が参加)

構成事業2 山の学校・海の学校(自然体験活動・環境教育推進事業) 【青少年室】

○ 様々な問題を抱える青少年が自然体験や環境教育を通して思いやりの心や社会性を身に付け「生きる力」を自ら育むための施策を推進するため、「さわやか元気キャンプ」を実施します。
(平成23年度は、さわやか元気キャンプ3回開催、「夏」20人、「秋」14人、「冬」23人が参加)

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

○ 青少年育成活動事業については、青少年の健全育成、非行防止及び市民への啓発活動などの各種事業を青少年関係団体等の協力を得て開催することにより、地域に対して、青少年の健全育成に対する啓発とその活動への参加を促進しました。【青少年室】

○ 山の学校・海の学校(自然体験活動・環境教育推進事業)については、不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な問題を抱える青少年を対象に「さわやか元気キャンプ」を夏の海洋体験、秋のデイキャンプ、冬のスキーの3回、実施し、自然体験活動、生活体験を通じて、自立を支援しました。

募集に当たっては、小・中学校や教育センターと連携し、キャンプの実施に当たっては、光の森のボランティア等の協力を得るなど、関係機関と連携して、取り組みました。【青少年室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

○ 青少年健全育成事業については、青少年育成団体と連携して、青少年野外コンサート、子ども野外カーニバル等を開催し、文化・スポーツ・レクリエーション活動等を通じて青少年の育成に努めます。【青少年室】

○ 山の学校・海の学校(自然体験活動・環境教育推進事業)については、不登校、いじめ、ひきこもりなど様々な問題を抱える青少年が自然体験や環境教育を通して思いやりの心や社会性を身につけ、「生きる力」を自ら育むための施策を推進するため、自然体験活動として、引き続き「さわやか元気キャンプ」を実施するとともに、教育センターや各学校との連携を進め、事業の充実に努めます。【青少年室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策 イ 青少年指導者等の養成と青少年団体の育成

子ども、若者の集団離れと、青少年育成者や指導者の責任や負担の大きさが、青少年団体活動の衰退の大きな原因と言われていますが、集団の活動を通じて子どもを育てる重要性は今も変わりません。事業を見直すとともに青少年育成者や指導者の技術や資質の向上につながる研修会や講習会を実施します。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
1,840	2,942	1,367

●施策を構成する事業

構成事業1 指導者養成事業

【青少年室】

○青少年リーダーを養成します。
(平成23年度は、吹田市・若狭町リーダー交歓会に46人が参加、少年の村に80人が参加、青少年リーダー講習会を3回実施、延べ98人が参加)

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 指導者の養成については、野外活動、レクリエーション、ゲームソング等の体験を通じて、将来、様々な分野で活躍する青少年リーダーとなるきっかけ作りとして青少年リーダー講習会を年3回、実施しました。また、青少年に関わる地域の指導者や指導者を志す方を対象に、青少年指導者講習会を開催し、知識や技能を向上し、地域で取り組む健全育成の充実を図ることができました。【青少年室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 文化・スポーツ活動、自然体験、遊びなど、地域における青少年の積極的な活動を推進するために、青少年を取り巻く環境や活動の場(居場所)を整えるとともに、青少年の自主的な活動を進めます。【青少年室】
- 指導者養成事業については受講者が、青少年の指導者や、リーダーとしての基礎的知識・技術を学ぶことにより、地域における青少年活動での活躍が期待できます。今後も講座内容・開催日について吟味し、楽しく参加でき、魅力ある講習会の実施を検討します。【青少年室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	ウ 子どもの居場所づくりの推進	
子どもの安心・安全な居場所づくりとして始めた「こどもプラザ事業」において、子どもたちには異年齢集団による遊びを体験する機会を提供し、保護者・地域の地域の人々には見守り等に参加することにより「みんなで子育て地域の子ども」を実践する場となるような条件整備を進めます。		
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
34,330	35,299	32,994
●施策を構成する事業		
構成事業1	こどもプラザ事業	【こどもプラザ推進室】
○水曜日の放課後、長期休業日及び土曜日に子どもたちが安心して安全に活動ができる場所や機会を小学校単位で提供しています。		
構成事業2	太陽の広場拡充実施事業	【こどもプラザ推進室】
○「太陽の広場」を週3日ないし5日に拡充実施します。		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- こどもプラザ事業は学校・家庭・地域がそれぞれ有する課題を共有できる教育コミュニティづくりをめざした地域教育協議会に事業委託し、実施しました。主に週1回水曜日の放課後や長期休業日に実施する「太陽の広場」及び土曜日に実施する「地域の学校」を内容とし、24小学校で実施しました。また「太陽の広場」を週3日ないし週5日に拡充実施する太陽の広場拡充実施事業を10小学校で実施しました。これらの取組により、放課後、子どもたちが安心して遊べる居場所を提供することができました。【青少年室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- こどもプラザ事業については、異年齢児と一緒に遊び、安心して安全に活動できる居場所を確保するため、引き続き各小学校で取り組んでいきます。【青少年室】

参考となる指標

こどもプラザ事業 実施校数

年度	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)
実施校数	30校	27校	24校	23校	24校

【こどもプラザ推進室】

太陽の広場拡充実施事業 実施校数

年度	平成19年度 (2007年度)	平成20年度 (2008年度)	平成21年度 (2009年度)	平成22年度 (2010年度)	平成23年度 (2011年度)
実施校数	3校	6校	9校	10校	10校

【こどもプラザ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策 エ 青少年施設の整備・充実

阪急山田駅前に平成23年3月に開設した吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館は、青少年や青少年団体の活動拠点として、またさまざまな悩みを持つ青少年の相談にのり、さらに社会的自立につながることでできる施設として、仲間と出会い、心と心がふれあい、安らげる居場所をめざします。この拠点施設が核となって市内の他の青少年施設、機関、団体と緊密な連携をもち、それぞれがもつ特性、機能をさらに充実させていきます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
2,614,397	409,304	362,526

●施策を構成する事業

構成事業1	吹田市勤労青少年ホーム管理運営事業(指定管理)	【青少年室】
○吹田市勤労青少年ホームを管理運営し、勤労青少年を対象とした事業を実施します。 (平成23年度は、青少年6,210人、一般15,989人、合計22,199人が利用)		
構成事業2	自然体験交流センター管理・運営事業	【自然体験交流センター】
○自然体験交流センターを管理運営し、野外教育、自然体験学習、生涯学習、交流の場を提供します。 (平成23年度は、609団体 30,730人が利用)		
構成事業3	少年自然の家管理・運営事業	【少年自然の家】
○少年自然の家を管理・運営し、主催事業として子どもたちに自然や仲間とのふれあいを深めるための機会を提供し、受け入れ事業として、学校や社会教育団体、地域サークル等に対し野外活動や団体活動の場を提供します。		
構成事業4	青少年クリエイティブセンター管理・運営事業	【青少年クリエイティブセンター】
○青少年クリエイティブセンターを管理・運営し、学習活動推進事業、交流推進事業、子育て支援推進事業、情報提供事業等を実施します。		
構成事業5	青少年活動サポートプラザ施設管理・運営事業	【青少年活動サポートプラザ】
○子育て青少年拠点夢つながり未来館(のびのび子育てプラザ、山田駅前図書館を除く)を施設を管理・運営し、青少年又は青少年団体が安心して学び、活動し、交流できる場の提供を実施します。		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 吹田市勤労青少年ホームの管理・運営については、効率的・効果的な施設運営をめざして、指定管理者制度による運営を行っています。
勤労青少年を対象として、生け花、英会話、テニス等の各種教室を開催するとともに、自主的なクラブ活動も行い、健全な余暇活動の提供や仲間づくりの場を充実することができました。
あわせて、勤労青少年の利用を優先としつつ、一般市民にも開放し有効活用しました。
【青少年室】
- 自然体験交流センターの管理・運営については、様々な主催事業を実施することにより、市民に自然体験学習、環境学習の場を提供するとともに、幼児から高齢者まで幅広い層の利用促進を図ることができました。また、開設50周年を迎えるにあたり、より市民の皆さんに親しみをもって利用していただけるよう愛称を募集し、「わくわくの郷」と決定しました。【青少年室】
- 青少年活動サポートプラザについては、平成23年3月に開館した「吹田市立子育て青少年拠点施設夢つながり未来館」において、青少年交流支援事業、子育て青少年相談事業等を実施し、青少年の抱える課題解決、居場所づくりに努めました。【青少年活動サポートプラザ】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 勤労青少年ホームの管理・運営については、市の審議会の「勤労青少年ホーム運営委員会」を廃止し、指定管理者が運営する「勤労青少年ホーム運営協議会」を設置し、施設運営等の充実をめざします。【青少年室】
- 自然体験交流センターの管理・運営については、効率的・効果的な施設運営を目指して指定管理者制度を導入し、青少年・野外活動団体に加え、すべての市民が環境学習や生涯学習に取り組める施設として、主催事業等の充実を図るなど、より高水準な市民サービスに努めます。
【青少年室】
- 「吹田市立子育て青少年拠点夢つながり未来館」において、青少年や市民の誰もが仲間と出会い、夢へとつながる「居場所づくり」をめざし、施設運営に取り組みます。
【青少年活動サポートプラザ】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策 オ 青少年にふさわしい環境づくり

子どもにとって有害な環境は、有害図書類やがん具刃物類だけでなく、携帯電話やインターネットなどによるいじめや裏サイトなど便利さの裏に潜む危険があります。また、低年齢化する薬物による被害など、子どもたちの命さえ危ぶまれる有害な環境から子どもたちを守るため地域ぐるみの運動を進めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
15,340	15,531	15,437

●施策を構成する事業

構成事業1 地区青少年健全育成事業への助成

【青少年室】

○地区青少年対策委員会が実施する、青少年の健全育成に関する事業の経費の一部を助成します。
(平成23年度は32地区の青少年対策委員会に15,152千円を補助)

構成事業2 青少年健全育成強調月間事業

【青少年室】

○11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、家庭・学校・地域が一体となり、啓発や活動への参加を促進します。
(主な取り組みとして、例年、全市一斉合同パトロールを実施、平成23年度は3,663人参加)

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 11月を「子ども・若者育成支援強調月間」と定め、青少年関係団体が中心となり、市民が一体となって、チラシ等による啓発活動や、「全市一斉合同パトロール」等に取り組むことで、青少年が健全に成長できる社会環境づくりを推進することができました。また、青少年の日常生活に関係する業者に対し、地域社会の活動の一員として健全育成への協力依頼や、自販機などの設置状況を調査する社会環境実態調査に取り組み、非行原因となる環境の除去に努めました。【青少年室】
- おおむね小学校区単位に青少年に関係する団体等で構成されている各地区青少年対策委員会に青少年を対象とする野外活動、スポーツ・レクリエーション活動、地域清掃などの奉仕活動に対する事業補助金を助成することにより、地域での青少年活動の推進を図りました。

【青少年室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 子ども・若者の健やかな育成を支援するため、諸事業を実施し、市民の理解を深めると共に、子ども・若者に関わる各種活動への積極的な参加を促し、「子ども・若者育成支援強調月間」の取組の一層の充実と定着を進めます。【青少年室】
- 地区青少年健全育成事業への助成については、青少年の健全育成事業を充実させ、地域の教育力向上を図ることが、さらに重要になってきています。各小学校における土曜日午前中の校庭開放事業をはじめとする青少年対策委員会が実施する事業に要する経費の一部を助成することで、さらなる事業効果をめざします。【青少年室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	カ 相談体制の充実							
<p>子どもを取り巻く環境の変化によって、相談内容も多様化しています。子どもだけでなく親たちの悩みにも応えなければ、ほんとうに子どもたちを支えることにはなりません。どこへ行ったらいいのかわからない子どもや親が安心してまず相談できるような窓口をつくりながら、単に悩みを聴くことから、解決のための社会的自立を促す相談機能も持ちながら、他の専門的な相談機関の緊密な相互連携が進められるような相談体制の検討を進めます。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	-	-	-
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
-	-	-						
<p>●施策を構成する事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>構成事業1</th> <th>子育て青少年相談事業</th> <th>【青少年活動サポートプラザ】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="3">○臨床心理士などの資格を有する専門相談員による面接相談、電話相談等を実施します。</td> </tr> </tbody> </table>			構成事業1	子育て青少年相談事業	【青少年活動サポートプラザ】	○臨床心理士などの資格を有する専門相談員による面接相談、電話相談等を実施します。		
構成事業1	子育て青少年相談事業	【青少年活動サポートプラザ】						
○臨床心理士などの資格を有する専門相談員による面接相談、電話相談等を実施します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 平成22年度(2010年度)まで青少年室で行ってきた青少年相談を、青少年活動サポートプラザへ移管し、子育て青少年総合相談事業に統合し、教育センターや子ども家庭センター等とのさらなる連携を行うことで、相談の充実を図ることができました。【青少年活動サポートプラザ】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 青少年相談は、主にひきこもり、ニート、不登校などの青少年の多様な相談事例に、臨床心理士などの資格を有する専門相談員が応じており、今後は、施設の周知を強化しつつ、子育て青少年拠点夢つながり未来館で実施している相談機能と各関係機関との連携を進めながら、青少年にかかわる相談体制の充実をめざします。【青少年活動サポートプラザ】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	キ 教育コミュニティづくりの推進	
本市には小学校を単位とする青少年対策委員会と中学校区を基盤とする地域教育協議会があり、それぞれの組織の本来の役割や機能を明確にするとともに、地域が一体となって青少年育成に取り組めるように、課題を共有する場の設定から大人のネットワークづくりへと進めていきます。		
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
19,551	20,357	19,083
●施策を構成する事業		
構成事業1	地域教育コミュニティ事業	【こどもプラザ推進室】
○各中学校区に地域教育協議会を設置し、地域での様々な活動のネットワークを図るための事業を委託します。		
構成事業2	青少年指導員の委嘱	【青少年室】
○青少年の健全育成を推進するため、各地区青少年対策委員会委員長の推薦を受け行政と地域のパイプ役として、青少年指導員を委嘱します。		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 地域教育コミュニティ事業については、平成13年度(2001年度)からすべての中学校区において設立された地域教育協議会を中心に「こどもプラザ事業」や「世代間交流スポーツ大会」などの事業を開催することによって、地域の教育コミュニティづくりを推進しました。
【青少年室】
- 行政と地域のパイプ役を果たす青少年指導員を委嘱し、青少年に関わる機関・団体により設置されている各地区の青少年対策委員会の中心となって、青少年の健やかな育成と非行防止に取り組み、地域での青少年活動を総合的に推進しました。【青少年室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 地域教育コミュニティ事業については、学校・家庭・地域が課題や情報を提供しあい、それぞれの教育力の再構築を図りながら、地域社会全体で子どもを見守り、育てるため地域の教育力の活性化を図る事業として、引き続き取り組みます。【青少年室】
- 市と地域の架け橋、地域のコーディネーターとしての役割を担う青少年指導員を、今後も継続して委嘱することにより、市と地域が連携して青少年の健全育成・非行防止に取り組みます。
【青少年室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
 基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策 **ク 各スポーツ団体の育成**

多様なスポーツ種目が普及しつつある状況に応じ、スポーツ関係団体の育成を図ります。また、市民の多様なスポーツに対するニーズに応えるために、団体間の相互協力を促進します。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
940	940	744

●施策を構成する事業

構成事業1 各スポーツ団体の育成事業 【体育振興室】

○地域スポーツの振興を図るため、その推進役となる地域スポーツの指導者の研修会を開催します。
 各スポーツ関係団体の育成のための研修会を開催します。
 (平成23年度は 267人が参加)

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 多様なスポーツ種目が普及している中、市民ニーズに対応できるよう研修会を開催し、各スポーツ団体の組織力を強化することができました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 各団体間の組織力をさらに強化するとともに、団体間の相互協力を促進します。

【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
 基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	ケ 総合型地域スポーツクラブの育成							
総合型地域スポーツクラブの育成にあたっては、地域のスポーツ団体の役割が重要であり、学校体育施設開放事業の充実を図る中で、各地域の活動実態を踏まえたクラブ創設の方策を検討します。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	0	0	0
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
0	0	0						
●施策を構成する事業								
構成事業1	総合型地域スポーツクラブの育成事業	【体育振興室】						
○社会体育関係団体で総合型スポーツクラブの育成事業を検討します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市での総合型地域スポーツクラブ(※)の育成について、体育振興連絡協議会、体育指導委員会(法改正に伴い平成23年(2011年)10月に「スポーツ推進委員会」に変更)・社会体育リーダー協議会の機関会議で検討しました。【スポーツ推進室】

(※) 総合型地域スポーツクラブ

国の定めるスポーツ振興基本計画に基づく新しいタイプのスポーツクラブで、身近な地域で子どもから高齢者まで(多世代)、様々なスポーツの愛好者が(多種目)、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる(多志向)、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 市での総合型地域スポーツクラブの創設については、他市の現状を把握しつつ、本市独自の地域スポーツのあり方も含め検討します。【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	コ 指導者の養成・確保							
地域におけるスポーツ活動の指導・助言にあたる社会体育リーダー、高齢者スポーツの振興を図る指導者、競技スポーツの技術指導や組織の育成指導にあたるスポーツ指導員の養成・確保に努めるとともに、資質の向上をめざし、研修会等の充実に努めます。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,364</td> <td>2,449</td> <td>2,347</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	2,364	2,449	2,347
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
2,364	2,449	2,347						
● 施策を構成する事業								
構成事業1	社会体育リーダー養成事業	【目俵体育館】						
○社会体育リーダー養成講座を開催し、地域住民のスポーツ活動に対する実践的指導・助言に当たる指導者を養成します。 (平成23年度は30人が受講し、23人を認定)								
構成事業2	競技種目別スポーツ指導員の養成事業	【体育振興室】						
○スポーツ指導員養成講座を開催し、スポーツ指導員を養成します。 (平成23年度は61人を認定)								
構成事業3	共催スポーツ教室指導員養成事業	【武道館】						
○共催スポーツ教室指導員養成講座を開催し、指導員を養成します。 (平成23年度は252人が参加)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 学校体育施設開放を中心とした地域スポーツの担い手として、市独自のスポーツ指導者制度である社会体育リーダーを養成し、地域スポーツの振興に努めました。【市民体育館】
- 各地域やスポーツ団体の指導者に対し、高齢者の特性や身体特徴を把握したプログラミングや指導が行えるよう講習会を開催しました。また、認定者の実践的指導力の向上を図るため、体育館で実施している教室に参加し、指導補助の一部を担う実践研修を実施するなど、高齢者スポーツの振興に努めました。【市民体育館】
- 競技スポーツの技術や組織の育成指導にあたるスポーツ指導員を養成し、競技スポーツの振興に努めました。【スポーツ推進室】
- 武道館では、共催スポーツ教室の指導者の養成講座を開催し、武道の振興に努めました。
【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 市民の健康づくり推進のため、継続して多世代・多種目にわたるスポーツ指導者の養成事業を展開するとともに、事後研修会等を開催することにより、指導者の資質の向上を図り、「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことのできる生涯スポーツ社会の実現をめざします。【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標2 支え合い、地域とともに歩む教育
 基本方向6 地域全体で教育力の向上を図ります

施策	サ 指導者の人材活用	
地域社会や時代の要請に応え、市民のスポーツ・レクリエーション活動をより促進させるため、地域や学校のスポーツクラブの指導者として活用ができるよう指導者登録・派遣システムなどの充実に努めます。		
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
0	0	0
●施策を構成する事業		
構成事業1	指導者の人材活用事業	【体育振興室】
○実際に活動している各種競技スポーツ指導員数を把握し、活用の方策を検討します。		

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 各種競技スポーツ指導員が多く、多くの体育・スポーツ施設で指導に努めることで、効果的な人材の活用を図れました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 各種競技スポーツ指導員を地域や学校のスポーツクラブの指導者として、さらに有効活用できるよう、派遣システムを検討します。【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	ア 学校・園施設の整備							
学校・園施設は、子どもたちの学習の場であり、学校においては非常災害時に住民の避難場所としての役割も果たすことから、耐震化を計画的に推進します。また、大規模改造等を行い学校・園施設の整備を図ります。さらに、快適に過ごせる学校施設の整備を進めます。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>634,077</td> <td>3,092,328</td> <td>2,165,570</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	634,077	3,092,328	2,165,570
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
634,077	3,092,328	2,165,570						
●施策を構成する事業								
構成事業1	小・中学校屋内運動場耐震補強及び大規模改造事業	【学校施設課】						
○屋内運動場の耐震補強工事を実施します。(平成23年度は5校に実施) ○耐震改修にあわせ、年次的に大規模改造工事を計画します。								
構成事業2	小・中学校校舎耐震補強事業	【学校施設課】						
○校舎の耐震補強工事を実施します。								
構成事業3	山田第一小学校校舎改築事業	【学校施設課】						
○耐震診断の結果、耐震補強が必要であること、バリアフリー等で支障がある建物であるため改築を実施します。								
構成事業4	千里丘北小学校建設事業	【学校施設課】						
○千里丘北地区における住宅開発に伴い、新たに転入する児童が就学する小学校の建設を行います。(平成23年度は実施設計を実施)								
構成事業5	吹田市立学校エレベーター設置事業	【指導課】						
○吹田市立小・中学校に在籍する、校舎内の上下移動の困難な児童・生徒の教育及び学校生活を保障するためエレベーターを設置します。								
構成事業6	支援学級及び通級指導教室エアコン設置事業	【指導課】						
○配慮を要する児童・生徒の教育環境を充実するため空調設備を整備します。								
構成事業7	小中学校及び幼稚園の空調設備整備事業	【保健給食課】						
○幼児・児童・生徒の教育環境を充実するため空調設備を整備します。(平成23年度は小学校3校、中学校3校、幼稚園1園に設置)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 小・中学校屋内運動場耐震補強については、平成19年度(2007年度)より、地域住民の避難場所になる屋内運動場の耐震補強を優先して実施し、平成23年度(2011年度)5校の耐震補強工事をもってすべての屋内運動場の耐震補強が完了しました。【学校管理室】
- 小・中学校校舎耐震補強事業については、避難施設となっている屋内運動場に引き続き、校舎の耐震補強工事16校、耐震補強設計15校、耐震診断9校、耐震補強計画4校を実施し、耐震化を進めました。【学校管理室】
- 千里丘北小学校建設事業については、大規模な住宅開発による児童数の変化に対応できるよう、新小学校の建設に向けて取り組みました。【学校管理室】
- 支援学級及び通級指導教室のエアコンの設置については、事業計画に沿って実施し、配慮を要する児童・生徒の教育環境の整備が図られました。【指導課】
- 吹田市立学校エレベーター設置事業については、新たに小学校1校にエレベーター1基設置

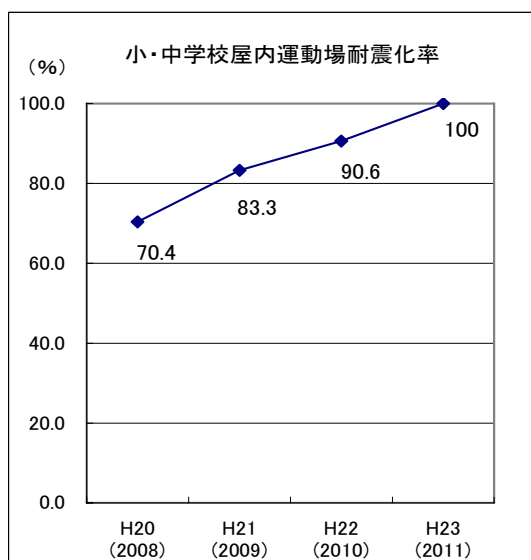
しました。【指導課】

- 小・中学校及び幼稚園の空調設備整備事業については、小学校3校、中学校3校、幼稚園1園に空調設備を整備しました。【保健給食室】

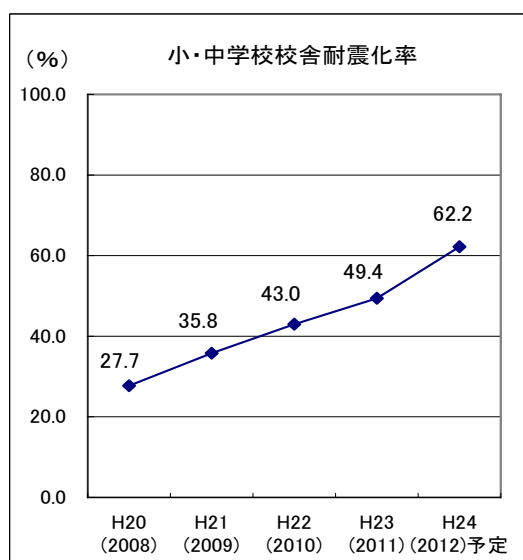
◆平成24年度（2012年度）の方針

- 小・中学校校舎耐震補強事業については、引き続き耐震化を進めるため、耐震補強工事21校、耐震補強設計12校、耐震診断6校を実施します。平成27年度（2015年度）の完了を目標に事業を進めます。【学校管理室】
- 支援学級及び通級指導教室のエアコンの整備については、事業計画に沿って実施に至っていますが、学級設置数の増加に伴い、引き続き年次計画に沿って計画していきます。【指導課】
- 小・中学校及び幼稚園の空調設備整備事業については、耐震工事の進捗状況により、中学校7校で実施します。【保健給食室】

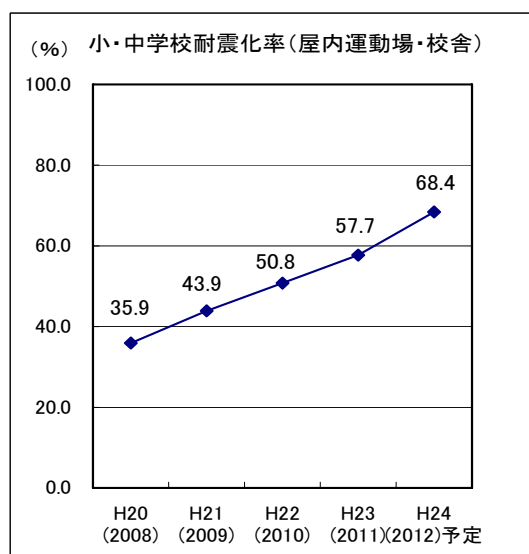
参考となる指標



【学校管理室】



【学校管理室】



【学校管理室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	イ 安心・安全の確保							
<p>学校・園内外における園児・児童・生徒の安全確保に努め、災害及び事故や事件への対応など、教育活動全体を通して安全に関する指導を徹底し、危機管理体制の充実を図ります。また、小学校と市立幼稚園に警備員を配置し、来訪者のチェックを行い不審者の侵入の抑制等を図ります。保護者、地域、関係機関の協力を得ながら、登下校等においても、子どもが助けを求めて飛び込むことができる、「*こども110番の家」運動をより一層推進していきます。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>85,257</td> <td>81,538</td> <td>70,691</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	85,257	81,538	70,691
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
85,257	81,538	70,691						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1 学校園安全対策事業		【教育総務課】						
○不審者の侵入防止・抑制を図るため、警備員等を市立小学校及び幼稚園の正門に配置し、学校・園における子どもたちの安全対策の充実に取り組みます。								
構成事業2 私立幼稚園安全対策事業		【幼稚園課】						
○不審者の侵入防止及び園児の安全の確保を図るための警備員等を配置する私立幼稚園設置者に対し、補助金を支給します。(平成23年度は市内私立幼稚園実施園4園に支給)								
構成事業3 防犯警備協力員配置事業		【幼稚園課】						
○幼稚園内の巡回、正門における立哨等、子どもたちの安全を守る活動に協力するため、地域住民による警備協力員を募り、安全対策の充実を図る取組を実施します。(市立幼稚園全園で実施)								
構成事業4 こども110番見まもり活動支援事業		【生涯学習課】						
○各小学校区で組織されている見まもり隊を支援します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 学校園安全対策事業については、子どもたちの安全確保を目的に、警備員等を正門に配置し、付近を常時監視することにより、来校・園者の受付とチェックを行い、不審者の侵入防止・抑制を図るとともに、緊急時の迅速な連絡体制のとれる安全対策業務を実施しました。

【学校管理室】

- 私立幼稚園では、通園バスによる送迎が多く、また、正門等においては、防犯カメラの設置やオートロックにより不審者の侵入防止に努めているところから、有人警備を助成の対象とする私立幼稚園安全緊急対策事業については4園の取組となっています。【幼稚園課】
- 地域住民や保護者等の協力を得ながら、園に防犯警備協力員の配置をすることにより、園児の安全対策の充実を図ることができました。【幼稚園課】
- 通学路において子どもが被害者となる痛ましい事件が相ついでいるため、各小学校区においてPTAや地域の方々が中心となって見まもり隊が組織され、主に登下校時に危険箇所において立哨が行われています。この見まもり隊に対し、メッシュベスト、キャップなどの消耗品を支給するなど支援することにより安心・安全な通学路の確保に寄与しました。【生涯学習課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 学校園安全対策事業については、引き続き事業を継続します。【学校管理室】
- 「安心・安全の都市づくり」宣言がなされ、園においても園児の安心安全が確保されるよう、

引き続き防犯警備協力員の配置で犯罪等の未然防止を図ります。

市立幼稚園では、引き続き、PTAや保護者等の協力を得ながら、全16園での実施を継続します。私立幼稚園については、有人警備の実施園に対して補助金を支給します。【幼稚園課】

- 子どもの見まもり活動は、各小学校区でそれぞれが独自で活動されているため、地域によって活動の度合いに差があることが課題ですが、今後とも見まもり活動の支援を継続し安心・安全な通学路の確保に努めます。【生涯学習課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	ウ 情報教育環境の整備							
学校教育情報通信ネットワークを構築し、市立のすべての小・中学校、教育センター、博物館等に接続し、情報の伝達や共有化を図っています。また、児童・生徒の情報活用能力の向上をめざし、教育の情報化を進めるために、校内LANの整備など、ICT活用の充実に努めるとともに、市立幼稚園についても情報教育環境の整備を図ります。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>21,125</td> <td>21,221</td> <td>20,217</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	21,125	21,221	20,217
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
21,125	21,221	20,217						
●施策を構成する事業 構成事業1 学校教育情報通信ネットワーク構築事業 【教育センター】								
○児童・生徒の情報活用能力の育成のための学校情報通信ネットワークを整備します。 ○教育の情報化に向けた小・中学校の情報機器を整備します。 ○小・中学校における図書館システムのICT化に取り組みます。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 各校に情報教育支援員を派遣し、教育の情報化に向けて、情報教育の研修の充実に努めました。【教育センター】
- 教育センターにおいて、普通教室におけるICT機器を活用した授業づくり等、教育の情報化を推進するための情報教育関係の研修を強化し実施しました。【教育センター】
- 情報教育・ICT活用研究グループにおいて、Web会議システム・情報モラル教育・ICT機器を活用した授業づくりについて研究しました。【教育センター】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 情報モラル・情報セキュリティについての教職員研修を実施するとともに、教育の情報化に向けた内容の充実に努めます。【教育センター】
- 小・中学校を研修会場として、普通教室及び特別教室におけるICT機器を活用した「授業づくり」等の公開授業や研究授業、研究協議を積極的に実施し、教職員が研修を受講しやすい環境づくりに努めます。【教育センター】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	エ 就学・就園の奨励・援助							
経済的理由により就学困難と認められる家庭に対しては、教育費の負担軽減の対策を講じていきます。また、経済的負担の軽減から市立幼稚園では保育料の減免、私立幼稚園では、保護者へ補助金を支給します。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1,115,667</td> <td>1,073,296</td> <td>979,135</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	1,115,667	1,073,296	979,135
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
1,115,667	1,073,296	979,135						
●施策を構成する事業								
構成事業1	小学校就学援助費支給事業	【学務課】						
○経済的理由により就学が困難と認められる小学校の児童の保護者に対し、学校給食費や学用品費など就学援助費を支給します。								
構成事業2	中学校就学援助費支給事業	【学務課】						
○経済的理由により就学が困難と認められる中学校の生徒の保護者に対し、学用品費など就学援助費を支給します。								
構成事業3	要保護・準要保護医療費援助事業	【学務課】						
○経済的理由により就学が困難と認められる小・中学校の児童・生徒の保護者に対し、学校保健安全法に定める疾病にかかる医療費を援助します。								
構成事業4	高校学習支援金支給事業	【学務課】						
○経済的理由により高等学校・特別支援学校(高等部)・高等専門学校及び専修学校の高等課程等への修学が困難な者に対し、学習支援金を支給します。								
構成事業5	私立幼稚園就園奨励費補助金支給事業	【幼稚園課】						
○私立幼稚園児の保護者に対し、その所得状況に応じ、園の設置者が保育料等の減免を行うことに対して補助金を支給し、保護者負担を軽減します。(平成23年度の支給対象者3,080人)								
構成事業6	私立幼稚園保護者補助金支給事業	【幼稚園課】						
○私立幼稚園児の保護者に対し、経済的な負担を軽減するため、その所得に応じ、補助金を支給します。(平成23年度の支給対象者5,194人)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

○ 就学援助については、市立小・中学校の児童・生徒(新小学1年生から新中学3年生)に対し、高校学習支援金については、市立中学校3年生(新高校1年生)に対し、学校を通じて事前に(新小学1年生については入学説明会時、新高校1年生には卒業式まで)申請書類を配付するとともに、各出張所、サービスコーナーにも申請書類を配置するなど、早期の周知を図りました。その中で、義務教育にかかる家庭の負担に対する安心及び公的負担によるセーフティネットとして十分に教育が受けられる制度づくりといった観点を踏まえ、今後も持続可能な事業として就学困難な児童及び生徒の就学を保障していくために、就学援助費の認定基準を生活保護基準額の1.2倍に見直しました。なお、これまでと同様に郵送申請も受け付けており、多くの方が活用しています。

また、高等学校等学習支援金については、事業見直し会議の結果を受け、選択と集中による制度設計を行い、低所得世帯の高校生等の修学を支援するためのセーフティネットとしての制度を構築しました。

要保護・準要保護医療費援助については、学務課での医療券発行が定着し、紛失防止や発行

等のスピード化が図られています。【学務課】

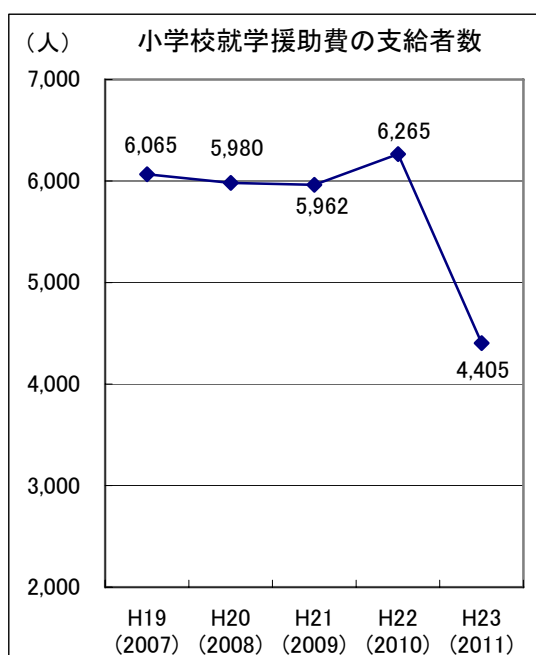
- 幼稚園教育の一層の普及と充実を図るため、①国の私立幼稚園就園奨励費補助金と合わせて、②吹田市独自の私立幼稚園在籍園児の保護者に対する補助金を支給し、所得状況に応じた保護者の経済的な負担の軽減を図りました。①については、所得制限を設けており、年収680万円以下の世帯(父、母と子ども2人の4人世帯を標準としている)を対象としています。②については、所得制限は設けていません。【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

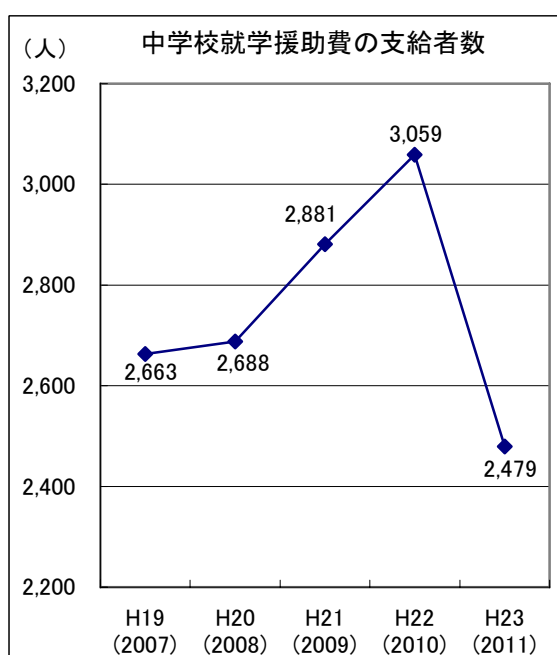
- 就学援助・高校学習支援金については、引き続き制度の早期の周知を図ります。【学務課】
- 申請時の書類の不備やトラブルを防止するため、市民に配付する説明書類の内容をより簡潔でわかりやすいものに見直します。【学務課】
- 制度の見直しを行った高等学校等学習支援金については、あらゆる機会を通じて周知を図るとともに、新制度の検証に努めていきます。【学務課】
- 国の私立幼稚園就園奨励費補助金と合わせて、市独自の私立幼稚園在籍園児の保護者に対する補助金を支給し、所得状況に応じた保護者の経済的な負担の軽減に努めていきます。

【幼稚園課】

参考となる指標

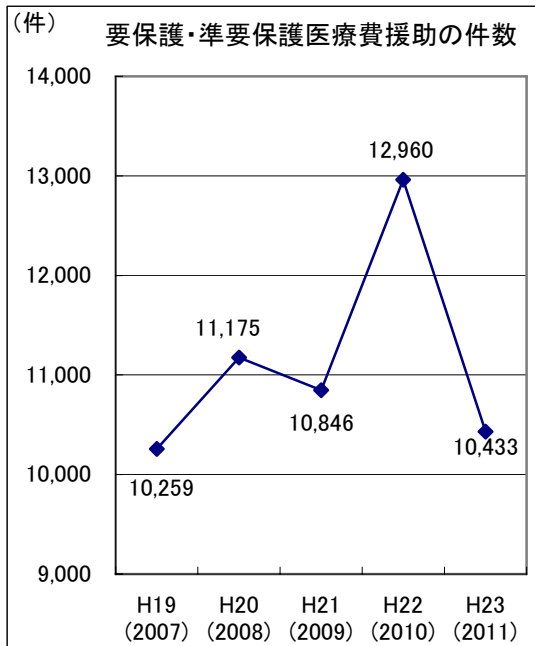


【学務課】

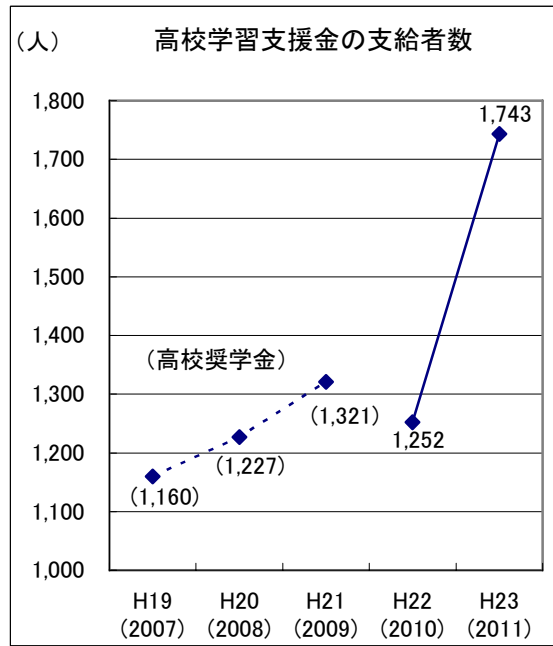


【学務課】

※平成23年度(2011年度)より、就学援助費の認定基準を生活保護基準の1.3倍以内から1.2倍以内へ変更

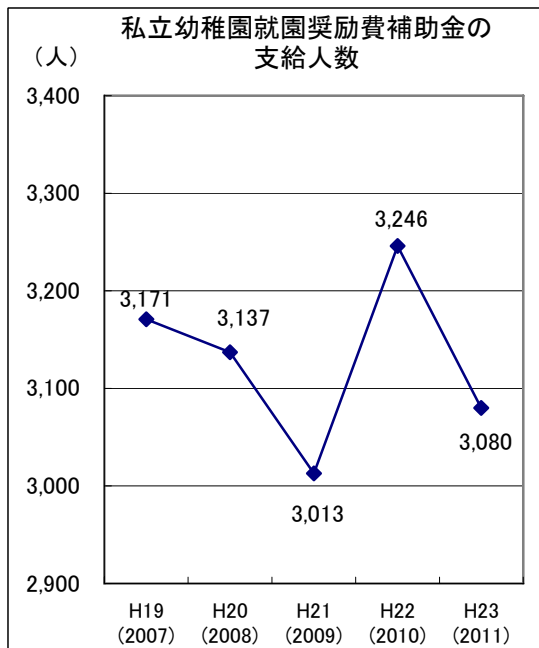


【学務課】

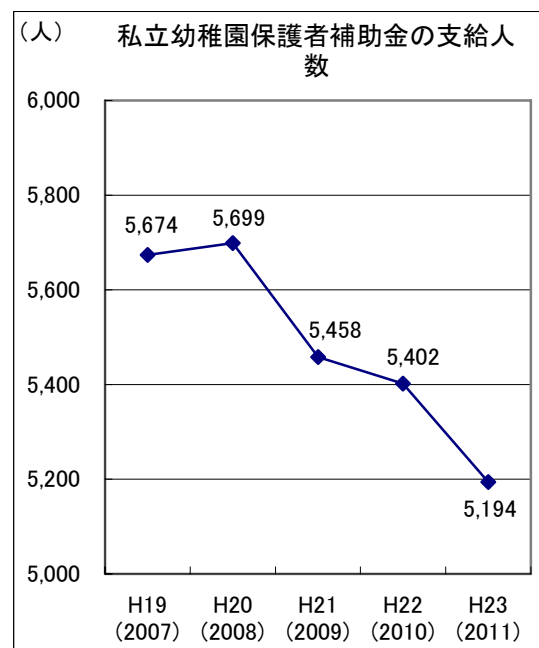


【学務課】

※平成21年度(2009年度)までは高校奨学金の支給者数を、平成22年度(2010年度)からは高校学習支援金の支給者数を表す。



【幼稚園課】



【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
 基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	才 過大校等の教育環境整備							
住宅開発に伴う児童・生徒数の大幅増加による過大校で、教室不足の解消とともに教育環境の整備に努めていきます。併せて、将来予想される少子化に伴う教育施設の有効利用について検討します。								
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">52,307</td> <td style="text-align: center;">11,190</td> <td style="text-align: center;">9,762</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	52,307	11,190	9,762
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
52,307	11,190	9,762						
●施策を構成する事業								
構成事業1	小学校過大校等対策事業	【教育政策室】【教育総務課】【学校施設課】						
○児童数の増加に伴う教室等の改修を実施します。(平成23年度は南山田小学校で改修工事を実施)								
構成事業2	中学校過大校等対策事業	【教育政策室】【教育総務課】【学校施設課】						
○生徒数の増加に伴う教室等の改修を実施します。(平成23年度は山田中学校で改修工事を実施)								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 児童・生徒数の増加に伴う教室の改修工事を小学校1校、中学校1校で実施し、過大校における教育環境の整備を図りました。【教育政策室】【学校管理室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 住宅開発等に伴う児童・生徒数の増加により、教室不足が生じるため、普通教室の増築や、改修工事等に取り組みます。【学校管理室】
- 児童数の増加に伴う給食調理室の改修工事を小学校1校で実施します。【保健給食室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
 基本方向7 安心・安全で豊かな学校教育環境を整備します

施策	カ 学校規模適正化							
第1期・第2期適正化事業について総括し、今後の適正化事業のあり方や校区のあり方などについて検討していきます。								
<table border="1"> <tr> <td>H22年度決算額(千円)</td> <td>H23年度予算額(千円)</td> <td>H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td>231,522</td> <td>148,238</td> <td>136,720</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	231,522	148,238	136,720
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
231,522	148,238	136,720						
●施策を構成する事業								
構成事業	第2期学校規模適正化関連事業	【教育政策室】【学校施設課】						
○青山台小学校・古江台小学校の校舎大規模改造工事を実施します。								
構成事業	通学路安全対策事業	【教育政策室】						
○学校規模適正化事業の実施に伴う校区変更で、新しく通学路となった箇所への安全対策を実施します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 第2期学校規模適正化事業の実施による受け入れ校である古江台小学校と青山台小学校の改修工事を行い、教育環境の整備を図りました。【教育政策室】【学校管理室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 引き続き古江台小学校・青山台小学校の改修工事に取り組みます。【教育政策室】【学校管理室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます

施策	ア 学校・園運営体制の確立							
<p>家庭や地域のニーズを踏まえ、さまざまな教育課題や社会の変化に機敏に対応するため、校・園長がリーダーシップを発揮し、特色ある教育活動を展開します。また、校・園長が学校・園経営の方針等を明確に示し、学校・園の教育目標の共有化を図るとともに、校内組織の活性化を進め、機能的な学校・園運営体制の確立に努めます。</p>								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td>60</td> <td>105</td> <td>40</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	60	105	40
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
60	105	40						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1	管理職研修事業	【指導課】						
<p>○学校教育の諸課題について研修を行い、管理職としての見識を高め、指導力、学校運営能力の向上を図る取組を実施します。</p>								
構成事業2	幼稚園教育自己診断等の活用	【幼稚園課】						
<p>○幼稚園教育自己診断や保護者評価による園教育活動や園運営に対する改善への活用に取り組みます。(市立幼稚園全園で実施)</p>								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 校園長が示す学校・園の経営方針のもと、首席・指導教諭、各主任、主幹、主査等を機能的に位置づけた学校・園の運営が図られました。【指導課】【幼稚園課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 校園長がリーダーシップを発揮し、校・園内体制を確立するとともに、学校・園経営目標を明確にし、教職員の共通認識のもと、特色ある教育活動を推進します。【指導課】【幼稚園課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます

施策	イ 教育資料の整備と教職員研修の充実							
<p>教職員の研修を支援する資料・情報の提供や教職員への指導・助言の充実を図るとともに、若手教職員の育成をはじめ、吹田市におけるさまざまな教育課題などを踏まえ、教育に関する専門知識・技術の習得や円滑な学校・園経営の推進に向けた教職員研修の充実を図ります。</p>								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>35,356</td> <td>13,398</td> <td>13,129</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	35,356	13,398	13,129
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
35,356	13,398	13,129						
<p>●施策を構成する事業</p>								
構成事業1	管理職研修事業	【指導課】						
<p>○学校教育の諸課題について、校長・教頭を対象に研修を行い、管理職としての見識を高め、指導力、学校運営能力の向上を図る取組を実施します。</p>								
構成事業2	教職員元気アッププラン事業	【指導課】						
<p>○教職員を海外研修派遣し、全体の意欲・資質向上を図るとともに、研修成果を学校教育に還元し、教育活動の充実を図ります。</p>								
構成事業3	学校問題解決支援事業	【指導課】						
<p>○学校教育活動中に生じた学校と家庭間等の解決困難な問題の早期解決を支援します。</p>								
構成事業4	研究学校事業	【指導課】						
<p>○研究学校を指定し、教育の課題について研究推進することで、教職員の資質や専門性を高め学校教育の充実を図る取組を実施します。</p>								
構成事業5	研究幼稚園事業	【幼稚園課】						
<p>○幼稚園の今日的課題について研究推進することによって、教職員の資質や専門性を高め、幼稚園教育の充実を推進します。(平成23年度は千里新田幼稚園と吹田第一幼稚園を研究指定園とし、研究発表を4回実施)</p>								
構成事業6	幼稚園教員研修事業	【幼稚園課】						
<p>○幼稚園教育に関する専門知識・技術の取得や円滑な幼稚園運営のために必要な研修を行い、教職員の自己教育力の高揚と資質の向上を図る取組を実施します。</p>								
構成事業7	教職員研修事業	【指導課】【教育センター】						
<p>○教育に関する専門知識・技術の習得や円滑な学校運営のために研修を行い、教職員の自己教育力の高揚と資質の向上を図る取組を実施します。</p>								
構成事業8	調査・研究事業	【教育センター】						
<p>○今日的課題を研究グループで研究し、その成果の資料を作成し情報を提供します。</p>								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 本市教職員の資質向上のため、教育に関する専門的・技術的事項の調査研究を行うため、研究学校を指定し、「コミュニケーション能力の育成」「幼・小・中連携」等の課題について、研究の推進を図ることができました。【指導課】【幼稚園課】
- 学校教育の諸課題について校長、教頭を対象に管理職研修を行い、指導力向上を図るとともに、教職員については、職責を遂行するため必要な知識や技能等の習得・向上を目的として、人権研修・特別支援教育研修等を行い、学校教育の円滑な推進・充実を図ることができました。【指導課】
- 教職員元気アッププラン事業により、教職員をカナダへ研修派遣を行い、現地の授業視察や教職員との交流等を通して学んだ事について、幼稚園・小学校・中学校へ発信し、教職員の資

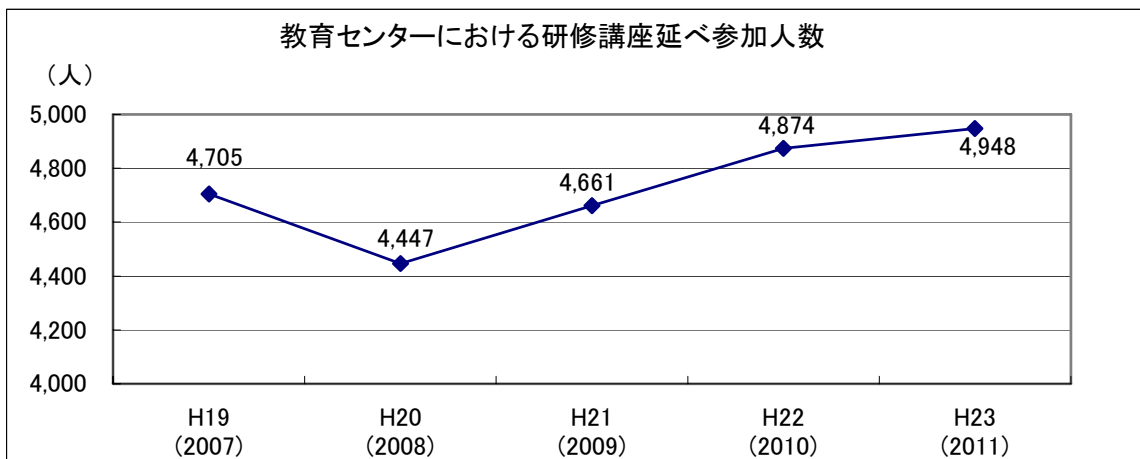
質向上等の推進を図りました。【指導課】

- 学校問題解決支援事業を活用し、学校への支援として教育問題への初期対応を行い、児童・生徒により充実した教育環境を確保することができました。【指導課】
- 幼稚園教諭として、その職責を遂行するために必要な知識、技能等の向上と習得を目的として、園内研修、園外研修（職場派遣研修）を平成23年度（2011年度）は107回実施しました。
また、ライフステージにあった研修の受講を勧めたり、今日的幼児教育課題に対応する研修を充実させました。【幼稚園課】
- 幼稚園の今日的教育課題について研究推進することによって、教職員の資質や専門性を高め、幼稚園教育の充実を図りました。【幼稚園課】
- 「生きる力」を育む教育の推進及び今日的教育課題への対応に向け、研究・教育実践の促進を図るため、各種教育研究団体へ加入し、情報交換・意見交換を行いました。【教育センター】
- 教育センター研修においては、ライフステージにあった研修や新教育課程を見据えた課題など今日的教育課題に対応する研修を充実させました。また、教職員の資質向上のため、7分科会からなる教育研究大会を実施しました。【教育センター】
- 各研究グループの研究成果の資料として、年1回研究紀要を継続発行しました。また、グループ独自での成果発表も行い、教職員への情報提供を充実させました。【教育センター】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 教育にかかわる今日的課題や吹田市の重点施策について、すべての教職員が学ぶ場として教育研究大会を実施し、教職員の自己研鑽に資するものとしていきます。【指導課】【教育センター】
- 本市の特色を生かすとともに、日常の教育活動に生かせるライフステージに応じた研修、大学等外部機関と連携した研修など、教職員研修の充実を図ります。【指導課】【教育センター】
- 平成20年度（2008年度）より実施している学校問題解決支援事業として、学校等に関する保護者・地域住民からの相談や問題が生じた時に早期対応・早期解決を図ります。【指導課】
- 吹田市の幼稚園教育の諸課題についての研究、研修を行うとともに、他市との意見交換などを含めた研修の実施を継続し、本市幼稚園教育の充実に努めるとともに、教員の研修システム体系を作成し、ライフステージにあった研修の充実を図ります。【幼稚園課】
- 学校教育の諸課題について研究、研修を行い、本市の学校教育の円滑な推進及び充実を図ります。【教育センター】
- 年1回研究紀要の発行やグループ独自での成果発表を継続し、教職員への情報提供をさらに充実させます。【教育センター】
- 本市の児童・生徒は、表現力等を活用して問題を解決する力に課題があることから、ICT機器を有効活用したわかりやすい授業づくりや、言語活動を意識した授業づくり等を研究主題とした研究学校を委嘱し、その研究成果を各学校が教育実践に活かしていきます。【教育センター】

参考となる指標



【教育センター】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向8 信頼と責任のある学校・園づくりを進めます

施策 ウ 教職員の人事管理の適正化

各学校における児童・生徒の健やかな成長を支え、市民から信頼される教職員の育成を図るとともに、さまざまな教育課題の克服に向けた教職員の適正な配置を進めます。また、「教職員の評価・育成システム」等の円滑な実施により、教職員の意欲・資質能力の向上と学校の活性化に努め、教職員の人事管理の適正化を図ります。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
-	-	-

●施策を構成する事業

構成事業1 教職員の人事管理の適正化 【教職員課】

- 年3回、校長ヒアリングを実施します。
- 府費負担教職員の評価・育成システムを実施します。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 校長ヒアリングを年3回実施するとともに、すべての小・中学校で合わせて1,437名に向けて「教職員の評価・育成システム」を実施しました。【教職員課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 引き続き、教職員の適正な配置を進めるとともに、さまざまな教育課題の克服に向けた教職員研修等に取り組みます。【教職員課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向9 時代の要請、市民のニーズに応じた生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます

施策	ア 生涯学習関連施設の整備・充実
<p>地域で市民の多様な生涯学習活動を支える地区公民館では、施設の充実に努めるとともに運営体制の充実に図ります。図書館では、魅力ある蔵書をめざすとともに、施設の整備・充実に図ります。地域歴史資料の収集展示、文化財保護、情報発信基地としての拠点施設である博物館では、展示内容の更新を図るとともに施設の整備・充実に努めます。</p> <p>また、市民の多様な学習ニーズに応え、学んだことを社会に還元するなど生涯学習社会をめざす上で、センター的機能を果たす生涯学習センターの整備を進めるとともに、学習施設間の連携や協力を密にし、各施設が持つ機能や立地条件などを生かした学習施設の体系化を図ります。</p>	

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
712,376	873,450	778,375

●施策を構成する事業

構成事業1	地区公民館施設管理事業	【中央公民館】
○地区公民館(29館・分館1館)を市民の利用に供するため、施設の維持管理を実施します。		
構成事業2	地区公民館の改修	【中央公民館】
○地区公民館の老朽化に伴い、年次的に大規模改修を実施します。		
構成事業3	旧西尾家住宅(吹田文化創造交流館)保存活用事業	【博物館】
○歴史的・文化的価値が高い建物の保存と文化財としての価値や味わいを活かした活用に取り組みます。		
構成事業4	旧中西家住宅(吹田吉志部文人墨客迎賓館)保存活用事業	【博物館】
○保存・公開並びに調査・研究、地域の伝統文化に関する保存並びに調査・研究を行うとともに、同住宅を迎賓施設として活用します。		
構成事業5	博物館活動	【博物館】
○資料の収集・保管と調査・研究及び、常設展・特別展、学校教育展及び講座の開催、展示室の充実に取り組みます。		
構成事業6	文化財保護	【博物館】
○文化財の調査・研究及び、文化財調査報告書刊行等による啓発、文化財の保存に取り組みます。		
構成事業7	千里丘図書館整備	【中央図書館】
○図書館利用不便地域への図書館整備に取り組みます。		
構成事業8	千里図書館移転	【中央図書館】
○千里ニュータウンプラザへの移転準備に取り組みます。		
構成事業9	文化会館管理運営事業	【生涯学習課】
○市民の文化の向上を図ることを目的とする吹田市文化会館の管理運営事業を(財)吹田市文化振興事業団を指定管理者に指定して実施します。(平成24年度より市長部局へ事業移管)		
構成事業10	文化会館改修事業	【生涯学習課】
○文化会館の老朽化に伴い、年次的に改修を実施します。(平成23年度に文化会館管理運営事業から分離し、新設。平成24年度より市長部局へ事業移管)		

- ◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価
- 文化会館においては、指定管理者である(財)吹田市文化振興事業団の運営のもと、積極的な経費削減を行いつつも、安定した管理運営を続けており、他の自治体の類似施設に比べて多

くの事業を自主事業において行い、市民の文化の向上を図りました。【生涯学習課】

- 千里丘図書館整備事業に係る実施設計を行い、整備に向けて準備を進めています。

【中央図書館】

- 博物館では多様な市民ニーズにあわせ、さまざまな時代、多様な分野の企画展示を6回実施し、教育普及事業でも多種多様な数多くの事業を実施し、出前講座・依頼講座にも講師を派遣し、市民の学習ニーズにこたえ、博物館の充実に努めました。企画展示については特に視覚以外から情報を得ることを試みる「さわる展示」は全国的に注視度が高く、また市民参画展示の実施など「一般の市民参加」と「マイノリティーへの対応」という2つの点でニーズに応じた環境の整備を進めました。【文化財保護課】

- 学校教育連携展示である小学校第3学年の社会科向けの展示「むかしのくらしと学校」展は児童の興味を引く内容であり、学芸員、ボランティア、教員の連携がうまくとれた好例の充実した企画展示となりました。【文化財保護課】

- 資料の収集については地域性を示すコレクション形成のため「博覧会資料」などを積極的に収集し、収蔵資料の点から博物館の充実に取り組みました。【文化財保護課】

- 市指定有形文化財・有形民俗文化財及び地域無形民俗文化財の保存・活用に努めることで、地域に伝わる民俗芸能等の伝統活動が奨励され、文化財の啓発推進が図られました。

【文化財保護課】

- 開発等に伴う埋蔵文化財等の調査を実施し、出土した貴重な遺物等については、科学的鑑定調査や保存処理を行い、展示等に活用し、展示内容の充実に努めました。【文化財保護課】

- 重要文化財に指定されている旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）は、引き続き保存や調査研究を行うとともに、重要文化財指定に伴う保存管理活用計画策定に着手し、良好に管理するための基礎資料を作成しました。また、ボランティアの協力を得て施設の公開や活用事業を行ったことにより、市民の文化財保護の意識を高め、文化の創造と交流に努めました。

【文化財保護課】

- 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）をボランティアの協力のもとで文化財としての観覧に供しながら、庭園調査の成果をまとめ、当住宅の文化史上の新たな評価を得ることができました。また、文化財の調査や新たな観点からの活用について検討を行うことによって、市民の文化財保護の意識を高め、地域の伝統文化の継承に努めました。【文化財保護課】

◆平成24年度（2012年度）の方針

- 千里丘図書館建設に向けての準備を引き続き進め、図書館の利用が不便な地域の生涯学習支援に努めます。【中央図書館】

- 千里ニュータウンプラザへの千里図書館の移転に向け準備を進めます。【中央図書館】

- 地域の文化の再発見、見直しのために、市民ニーズを参考にしつつ、資料の調査研究に裏付けられた多様な展示事業、教育普及事業を展開します。また、さらなる市民参画を進め、学校教育や地域との連携を深めながら、新たな利用者層の創出に努め、地域の情報発信拠点の役割を果たすべく博物館の充実に取り組みます。【文化財保護課】

- 引き続きコレクションの充実のために地域性を示す博物館資料を積極的に収集し、博物館資料の充実を図ります。【文化財保護課】

- 文化財保護については、文化財が長い歴史のなかで生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた貴重な国民的財産であり、わが国の歴史、文化を理解する上で、欠くことのできないものであると同時に、将来への文化発展の基礎となるものであることを踏まえ、文化財の調査、指定、保存、活用を図り、啓発活動を推進します。文化財の保存活用を図り、啓発することで、市民の地域への愛着や地域文化を育むことを推進します。【文化財保護課】
- 旧西尾家住宅（吹田文化創造交流館）については、重要文化財としての特色を生かした保存及び活用を図るための保存管理活用計画を作成することで、文化財の保存と調査を推進させ、新たな文化の創造、交流、まちづくりへの寄与をめざします【文化財保護課】
- 旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）については、調査研究を進めるとともに公開や迎賓施設として使用する等、貴重な文化財として保存・活用を図りながら、新たな文化財の評価に基づく活用を推進させ、地域文化の伝承をめざします。【文化財保護課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境

基本方向9 時代の要請、市民のニーズに応じた生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます

施策 イ ふれあいと自己実現の場の提供

高齢者と若い世代がともに学べる世代間交流事業や、共通の地域・生活課題に関する学習機会の提供などを行うとともに、音訳・点訳・ブックスタートボランティアなどさまざまな団体との連携を進め、地域において市民のふれあいと自己実現の場の充実に努めます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
4,404	4,950	4,735

●施策を構成する事業

構成事業1 ブックスタート事業

【中央図書館】

- 全図書館と自動車文庫で赤ちゃんとその保護者へ絵本を1冊無償配布します。
- ボランティアグループによる読み聞かせ講座「ブックスタートのひろば」を実施します。

構成事業2 図書館障がい者サービス事業

【中央図書館】

- 各種ボランティア養成講座及びスキルアップ講座を実施し、修了者で組織するボランティアグループの協力を得て、対面朗読サービスや録音図書の貸出し等、障がい者サービスを実施します。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 図書館では、ブックスタート(※)をはじめ乳幼児と保護者対象の事業を充実させることで、子育て世代の交流の機会提供を推進しました。【中央図書館】

(※)ブックスタート

0歳児のいる家庭に絵本を配布し、本を通じ親子の絆を深め、幼児の成長を支援する事業

- 点字・録音図書の製作や対面朗読サービスの実施などの障がい者サービスをはじめ、「ブックスタートのひろば」や「おひぎで絵本」などの児童サービスなどで活動するボランティアを継続して養成し、市民との協働を推進しました。【中央図書館】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 引き続き、障がい者サービスや児童サービスなどの担い手として活動するボランティアを養成するとともに、スキルアップを目指した養成講座を開催し、さらにより多くの市民との協働を推進します。【中央図書館】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境

基本方向9 時代の要請、市民のニーズに応じた生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます

施策	ウ 市民体育・スポーツ施設の整備							
既存の体育・スポーツ施設の老朽化に伴う安全性の確保と高齢者や障がい者などの利便性を考慮した施設の整備・充実に努めるとともに有効利用を図り、利用者に対するサービスの向上に努めます。								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>H22年度決算額(千円)</th> <th>H23年度予算額(千円)</th> <th>H23年度決算見込額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>630,973</td> <td>678,936</td> <td>667,208</td> </tr> </tbody> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	630,973	678,936	667,208
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
630,973	678,936	667,208						
●施策を構成する事業								
構成事業1	スポーツグラウンド管理事業	【体育総務室】						
○スポーツグラウンドの維持管理を実施します。								
構成事業2	市民プール維持管理事業	【体育総務室】						
○市民プールの維持管理を実施します。								
構成事業3	市民体育館施設管理事業	【各体育館】						
○市民体育館の維持管理を実施します。								
構成事業4	武道館施設管理事業	【武道館】						
○武道館の維持管理を実施します。								
構成事業5	総合運動場施設管理事業	【総合運動場】						
○総合運動場の維持管理を実施します。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 5か所のスポーツグラウンド、4か所の市民プール、5か所の市民体育館、武道館及び総合運動場など市民体育施設では、老朽化に伴う安全性の確保と高齢者や障がい者などの利便性を考慮した施設の整備・充実に努めるとともに有効活用を図り、利用者に対するサービス向上に努めました。【スポーツ推進室】【市民体育館】
- 「誰もが、いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現が求められているなか、武道館および総合運動場の月曜（定期清掃等実施日を除く）・祝翌日の開館時間延長によって、利用者に対するサービスの向上を図り有効活用に努めました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 各体育施設とも点検整備を密に行い、市民サービスの向上に努めます。

【スポーツ推進室】【市民体育館】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境

基本方向9 時代の要請、市民のニーズに応じた生涯学習・生涯スポーツ環境の整備を進めます

施策	エ 学校体育施設等の利用・活用
-----------	------------------------

地域のスポーツ・レクリエーション活動の中心となっている学校体育施設開放事業の充実に努めます。また、大学等が所有する体育・スポーツ施設との連携について協力を要請します。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
26,170	26,332	26,332

●施策を構成する事業

構成事業1	学校体育施設等の利用・活用事業	【体育振興室】
--------------	------------------------	----------------

○市内各小学校、中学校の体育施設を地域住民のスポーツ活動の場として開放します。
(平成23年度は 548,529人が利用)

構成事業2	大学等のスポーツ施設との連携事業	【体育振興室】
--------------	-------------------------	----------------

○大学等のスポーツ施設利用の拡大に努めます。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 地域のスポーツ・レクリエーション活動を振興するため、中学校運動場ナイター施設開放事業に伴う冬期開放を実施する中学校を1校拡大しました。【スポーツ推進室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 地域住民のニーズに合った学校体育施設開放事業の充実に努めるとともに、市民の多様なスポーツに対するニーズに応えるため、引き続き関係団体との連携を図っていきます。

【スポーツ推進室】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向10 開かれた教育行政を進めます

施策	ア 教育情報の発信							
学校・園等の教育活動、生涯学習・スポーツなどをはじめ、さまざまな教育情報を提供して、教育に対する関心を高めながら、市民とともに吹田の教育を進めていきます。								
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 33%;">H22年度決算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度予算額(千円)</td> <td style="width: 33%;">H23年度決算見込額(千円)</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </table>			H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)	-	-	-
H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)						
-	-	-						
●施策を構成する事業								
構成事業1 教育情報の提供		【教育委員会各室課】						
○案内、チラシ、ホームページ等により教育情報を提供します。								
構成事業2 教育広報事業		【教育政策室】						
○「市報すいた」にA4版2～4ページの「教育だより」を年3回発行し、全世帯に配付することで吹田市の教育の取組の周知に努めます。								

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 市の発行する冊子や各室課で作成する案内やチラシの配付、ホームページを通じて業務や事業内容の案内に努めました。同時に年3回、「市報すいた」に「教育だより」をはさみ込み発行しました。【教育政策室・教育委員会各室課】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 教育情報の発信にあたっては、より積極的な取組をめざします。【教育政策室・教育委員会各室課】

平成23年度(2011年度)実施事業 施策評価シート

基本目標3 豊かな学びを支援する教育環境
基本方向10 開かれた教育行政を進めます

施策 イ 教育委員会の点検・評価

教育委員会の点検・評価を実施して市民に公開し、教育ビジョンの進行管理を適切に行って、多様化する教育課題に効果的・効率的に対応する教育施策を進めていきます。

H22年度決算額(千円)	H23年度予算額(千円)	H23年度決算見込額(千円)
180	270	90

●施策を構成する事業

構成事業1 教育施策に対する点検・評価

【教育政策室】

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育委員会の行政の執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表します。

◆平成23年度(2011年度)取組に対する評価

- 平成22年度(2010年度)における教育委員会事務の点検・評価を教育ビジョンに基づいて実施し、重点的な取組に対する点検評価などに取り組みました。【教育政策室】

◆平成24年度(2012年度)の方針

- 教育委員会事務の点検・評価報告書については、教育ビジョンに基づき各事業の相互関係を明らかにするなど、市民によりわかりやすい内容が掲載できるよう検討を続けます。

【教育政策室】

平成 23 年度（2011 年度）実施事業にかかる教育委員会の
事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書に対する知見

学識経験者（順不同）

島 善信氏 大阪教育大学教職教育研究センター センター長
柴田 仁氏 大幸薬品株式会社 代表取締役会長
尾浦 芙久子氏 吹田歴史文化まちづくり協会 理事長

<点検・評価報告書について>

○教育委員会が推進したすべての事業について、事業内容、平成 23 年度取組に対する評価、平成 24 年度の方針という共通フォーマットに基づいて記述され、必要に応じて参考となる指標を掲載するなど、内容的に充実されていることについて評価します。特に、評価については、客観的な事実や数値実績を盛り込むことや市民を意識して平易な表現にするなど、内容を充実し分かりやすくするための努力の跡が見られます。

ただし、冒頭の、重点的取組に対する評価と課題の部分と、吹田市教育ビジョンに基づく施策評価の本体部分との関連性や位置づけが不明確であるという問題点は依然として改善されていません。また、吹田市教育ビジョンそのものの組み立てになお改善の余地があるのではないかと考えられます。

○報告書の冒頭に、吹田市の教育行政を推進するにあたっての基本的な考え方を、教育委員会として明らかにしておくことが必要ではないでしょうか。本報告書は、地方主権という大きな流れの中で、吹田の教育の充実と発展のためには市民の理解と協力、参画を得ることが不可欠で、そのためのツールとして活用することが求められます。教育委員会としての施策の全体像と推進方針についての考え方を明らかにすることによって、報告書に対する理解が深まるものと考えます。

○全体を、基本目標 3 項目に簡潔に整理したことは評価します。しかし、例えば、学校づくりや、生涯スポーツなどの項目が、複数の項目に分散して入っているため、全体の整合性が分かりづらいです。基本方向と施策の構成についてなお改善の余地があるのではないのでしょうか。

○目次（施策一覧）によると、平成 23 年度は、3 項目の基本目標、10 項目の方向、49 項目の施策により展開しています。個別の事業が横並びでなく、全体との関連や位置づけが明確となり整合性のある施策展開ができるよう、事務局内の調整力を発揮し総合行政機能の充実に努めることが必要です。特に今年度の報告で強調された、小中一貫教育についても、義務教育 9 年間を見通した一貫性と系統性のある教育を、幼児教育も含め小・中が協働して進めることができるよう、総合的な施策策定と個別学校の枠を越えた市民・保護者も参画できるシステムの構築が必要でしょう。

取組に対する評価については、記述内容と構成事業との関連が分かりづらいものとなっているため改善の余地があります。

評価シート毎に、全体として進んだのかそうでないのかを示すために、評価基準の設定とその

評価を示すことが必要ではないでしょうか。

○当年度の点検・評価報告書は本市教育ビジョンに沿った各重点的取り組みに関する評価がなされ、教育委員会各部のそれぞれの実施策については評価指標が示されているものは個別の事業や施策の達成度が客観的に評価できるようになっていると思います。ただ、もう少し全体のビジョン達成の進捗がわかるようにしていただければいいと感じました。

○各施策や事業についての個別の評価指標については、数値化できるものを取り上げていただいております。これは客観的な指標になります。その反面、数値化しにくい重要な事項もあると思いますので、様々な取組の行動を分析し、その効果を評価して現場の改善に繋がるようにしていただければいいと思います。

○一般的な製品やサービスについての評価指標に顧客満足度というものがありますが、教育委員会の施策についても計画段階から適切な評価指標を設けて教育現場の当事者からの評価を加えることにより、教育施策の改善に繋げていくことが可能だと思います。ただし、現場へ負担感を与えずに実施できて、評価結果がタイムリーに現場にフィードバックされることが必要です。実施した施策に対する評価が今後の改善に結びつき、先生方も適切な評価を受けることができるようになれば教育現場の達成感や意欲も高まると思います。

○教育ビジョンは最終ゴールに向かって年度ごとに成果を積み重ねて達成できるものではないかもしれませんが、市の教育ビジョンが示す教育の在り方とその成果の達成度を総合的に評価する何らかの評価指標を設けて点検・評価し、改善を図っていくことも必要ではないかと思います。本市教育ビジョンの中にも教育行政についてこれまで以上に開かれたものにしていくため、教育情報や教育施策の点検・評価などをわかりやすい形で市民に発信していくと書かれています。本自己点検・評価報告書においても、教育委員会としての教育施策全般に対する総合的な進捗状況に関する評価を述べていただければ、全体像がよりわかりやすくなると思います。

○施策ごとの予算と決算見込書をつけて頂いておりますが、事業ごとの額が見られませんでした。どの事業にどれぐらいの予算がつけられ、執行されたのかつかめませんでした。判断の糧にしたかったのですが。

<学校教育>

○これからの社会を担い、生きてゆく子どもたちが生きていく上で様々な知識や生きる力を得るところが学校です。子どもたちを取り巻く条件は子どもそれぞれに異なり、どの子も等しく尊重され、教育される権利を持っています。教職員の人間力とスキルを上げるための研修の充実を図り、子どもたちが安心して楽しい授業を受けることができるように努力されることを希望します。

○本市教育ビジョンでは学校教育において「総合的人間力」を育成するということが目標に挙げられ、基礎・基本の定着、課題発見・解決能力、豊かな人間性、健康・体力の育成が求められる

とありますが、実際にどのような人間形成を目指しているのか抽象的で分かりにくい面があります。教育委員会として各教育課程で目指す総合的な人間力とはどのようなものを具体的に示して、施策との関連を明確にいただければ、わが子の教育環境を考える人にとって吹田市の学校教育の方針がよりわかりやすくなると思います。本市の教育制度では、子供たちの基礎的な知識レベルを向上しつつ、個々の得意分野を伸ばすためにどのような施策があるのか、地域固有の教育にはどのようなものがあるのか、国際的に活躍できる市民を育てるためにどのような施策があるのかなど、多くの方々に知っていただければ地域の教育力向上にも繋がると思います。

また、教育委員会の広報、あるいは教育相談の一環として、本市で今後教育を受けようと考えている人たちに対して、市外からの居住予定者を含めて、教育制度に関する情報提供や相談の対応を検討してはいかがでしょうか。

○子どもたちは情報化時代を迎え、複雑な社会情勢の中、多様な教育を受けることが必要です。先の見えない経済の状況から、子どもたちが望む職業に就けることは10年前の状況と比べても各段に困難になっています。今までの固定化した職業や生き方を打破する、たくましく自分らしく生きるための今日的課題に対応した教育の推進を評価します。

○国際理解を進めるための英語教育については、子供たちが具体的な体験を通じて、実際に学んだ外国語を活用できる機会を与えることにより、世界に友人を作って互いに意思疎通できることの意義と必要性を感じる事が大事だと思います。本市の国際交流事業との連携を図るなど、子供たちだけでなく一般市民の方々にも国際交流の意義を共有していただければ、イメージが膨らんでいくと思います。

○中学校の伸び盛りの子どもたちの給食に関して、より良い内容の給食の提供をされるように希望します。ここでの体づくりは生涯の健康を左右します。(中学校給食モデル事業)

○吹田市で小学校中学校を過ごした子どもたちは水泳に関しては自信を持っています。先生方の献身的な指導があればこそその結果です。他の運動は苦手でも、得意なスポーツは水泳と胸をはれます。また臨海学校では海で泳ぐなど、素晴らしい取組です。(水泳安全指導事業)

○社会全体が忙しく、気ぜわしい中ゆっくり読書に取り組む時間がなかなか取れない現状です。しかし、小学校中学校の時期に読書をする習慣、読書の楽しみを身につけてもらいたいと思います。学校図書館の存在は大きく、読書支援者の配置とともに、子どもたちの世界を拓くような本をそろえて頂きたいです。(読書活動支援者配置事業)

○日本語適応教室の担う責任は大きいです。日本語の学習、学習言語の獲得、学校生活になじむための対応、母語保持のための指導など少ないスタッフと阪大などとの連携でがんばっておられます。外国から来た子どもたちや親たちが日本に来てよかった、日本に帰ってきてよかったと実感できるような取組に育ってほしいです。(日本語適応教室事業)

○組織が整えられ心強い限りです。いじめによる自殺など吹田のまちで起きるようなことがないように強く願います。楽しく子どもたちが通う学校であってほしいです。ただ、組織がどのように整ったとしても、それを動かす大人の目に曇りがあっては何の役にも立ちません。心して組織を動かしていただけるように望みます。(子どもサポートチーム事業)

<教育環境>

○地球温暖化や周りをコンクリートで埋めてしまった私たち大人は、自分たちの子どもの頃のように涼風の中で授業を受けることができない子どもたちに空調設備の設置を急がねばなりません。出来るだけ前倒しですすめていただけますように。耐震工事の進め方も、できるだけ早くお願いします。

<地域教育>

○「いつでも」「どこでも」「だれでも」生涯学習の基本です。これに則って生涯学習が進められていて心強い限りです。障がい者への講座提供、手話通訳派遣などすばらしいサービスです。ただ、「だれでも」というところに言葉の弱者、外国から来られた人たちへの視点が抜けているのではと危惧しました。また、子育て支援の必要性が叫ばれている現在、保育つき講座があまりにも少なく、子育て世代への暖かい配慮がほしいところです。

○小学校区に1館たてられている地区公民館の存在は大きく、地域住民の自治意識をも涵養してきました。地域の課題を浮かび上がらせ、その解決のための学習機会を提供し、また趣味を同じくする人たちとのネットワークづくりを手助けし、顔の見える地域づくりに寄与しています。大きな可能性を持った地区公民館の潜在的な能力に期待します。(地区公民館事業)

○多様な市民の多様なニーズに応えることは大変なことだと思います。子育て教室など、高い評価をされています。その中で、中央公民館で実施してこられた日本語教室を廃止されたのは残念です。(中央公民館事業)

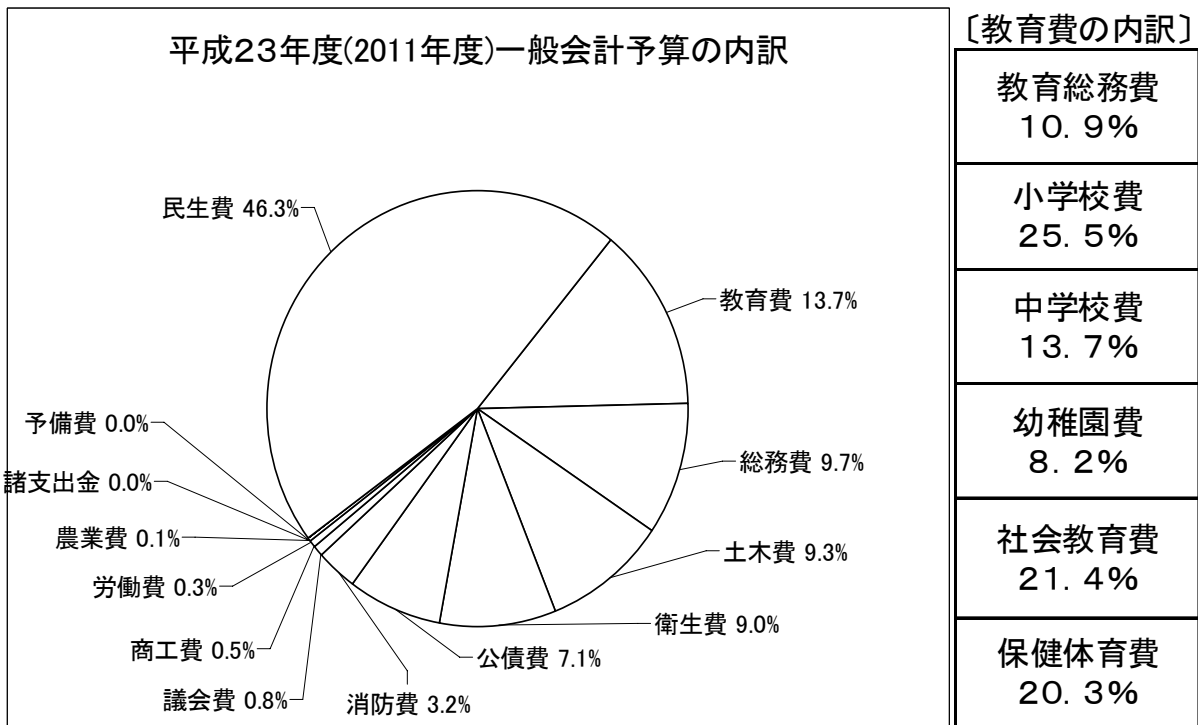
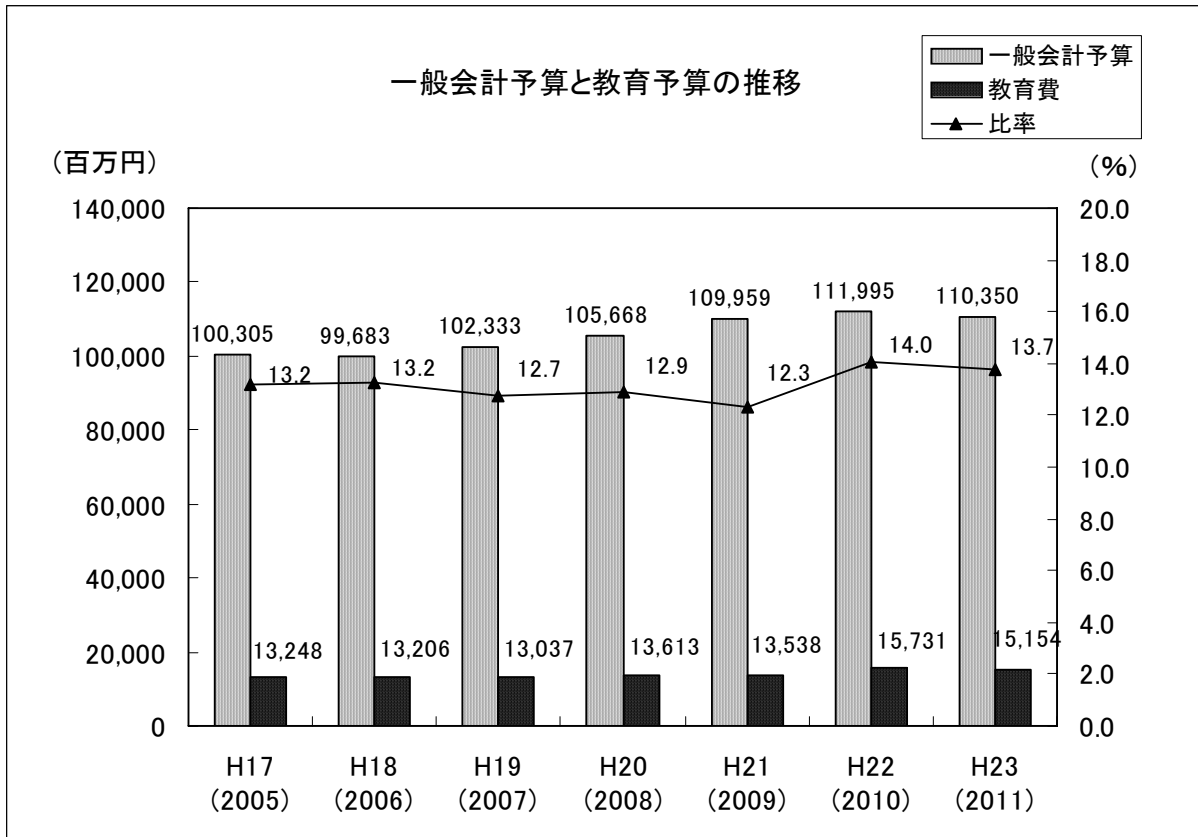
○学校や幼稚園などの花壇の整備や朝夕の登下校時の見守りなど、地域の大人たち(高齢者が多い)が学校と連携する機会が増えました。子どもたちにとっても地域の大人たちにとっても新たな関わりができ、うれしいことです。これからもこの歩みがとまることのないように望みます。(学校等支援者ボランティアネットワーク事業)

○子どもプラザ事業は放課後の子どもの居場所として定着しています。楽しく遊んでいる子どもたちの様子は微笑ましいものがあります。(こどもプラザ事業)

<生涯スポーツ>

○体育館などで多くの高齢者が健康な体づくりをめざして、スポーツに励んでおられます。教育委員会などの取組が功を奏し、健やかな高齢者社会を作る一助となっています。これからますます必要ですすめていきたい施策です。

◇参考資料



吹田市教育委員会事務局 組織改正(平成24年4月1日施行)

